

Galaxy VS

UPS

操作マニュアル

最新情報は、Schneider ElectricのWebサイトをご確認ください
2023年1月



法律情報

本ガイドで言及されているシュナイダーエレクトリックのブランドならびにシュナイダーエレクトリックSEおよびその子会社の商標は、シュナイダーエレクトリックSEまたはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。本ガイドおよびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし作成されています。本ガイドのいかなる部分も、いかなる形式や手段（電子的、機械的、複写、記録、またはその他）によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、複製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」本ガイドを調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

シュナイダーエレクトリックの製品および設備の設置、運転、メンテナンス、管理は必ず、適格な担当者が行ってください。

規格、仕様、および設計は随時変更されるため、本ガイドに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。

適用法により認められる範囲で、シュナイダーエレクトリックおよびその子会社は、本資料の情報コンテンツの誤りや記入漏れまたは本資料に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。



マニュアルはこちら：

Trouvez les manuels ici :

在这里找到手册

Hier finden Sie die Handbücher :

Encuentre los manuales aquí :

Encontre os manuais aqui :

IEC



UL



IEC : https://www.productinfo.schneider-electric.com/galaxyvs_iec/

UL : https://www.productinfo.schneider-electric.com/galaxyvs_ul/

目次

重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいてください.....	5
FCCステートメント.....	6
電磁適合性.....	6
安全性に関する注意.....	6
ENERGY STAR認定.....	6
ユーザーインターフェイスの概要.....	7
ディスプレイ.....	7
メニューツリー.....	10
コントローラーセクション.....	11
運転モード.....	12
UPS運転モード.....	12
システム運転モード.....	15
設定.....	17
UPS入力の設定.....	17
出力の設定.....	18
出力変圧器電圧の補正.....	19
バッテリーソリューションの設定.....	20
高効率モードの設定.....	23
ブレーカーの設定.....	24
入力接点の設定.....	25
出力リレーの設定.....	26
ネットワークの設定.....	28
Modbusの設定.....	30
UPS名称の設定.....	31
日付と時刻の設定.....	31
ディスプレイ環境設定の設定.....	31
ダストフィルターリマインダーの設定.....	32
負荷制限の設定.....	33
UPS設定のUSBデバイスへの保存.....	34
USBデバイスを使用したUPS設定の復元.....	34
ディスプレイ言語の設定.....	35
パスワードの変更.....	35
操作手順.....	36
オフモードからのUPSシステムのスタートアップ.....	36
通常運転からスタティックバイパス運転へのUPSの切り替え.....	36
スタティックバイパス運転から通常運転へのUPSの切り替え.....	36
インバーターオフに切り替える.....	36
インバーターオンに切り替える.....	36
充電器モードの設定.....	37
UPSシステムをシャットダウンして保守バイパス運転に切り替える.....	37
Kirkキー付き単機UPSシステムをシャットダウンして保守バイパス運転に切り替える.....	38
UPSシステムの保守バイパス運転からの起動.....	39
Kirkキー付き単機UPSシステムの保守バイパスモードから運転を開始する.....	40
設定したネットワーク管理インターフェイスへのアクセス.....	41
HTTP/HTTPSプロトコルの有効化.....	41

SNMPプロトコルの有効化	42
ログの表示	43
システムステータス情報の表示	44
モジュール式バッテリーのステータスの表示	46
テスト	47
ランタイム較正テストの開始	47
ランタイム較正テストの停止	48
バッテリーテストの開始	48
バッテリーテストの停止	48
保守	49
温度センサー/湿度センサーの接続 (オプション)	49
ダストフィルターの交換 (GVSOPT001とGVSOPT015)	49
ダストフィルターの交換 (GVSOPT014)	51
モジュール式バッテリーストリングの交換と取り付け	52
Live Swap : パワーモジュールの追加、取り外し、交換	54
交換部品が必要であるかを判断する方法	58
シリアル番号を確認する方法	58
Schneider Electricへの部品の返却方法	59
トラブルシューティング	60
UPS運転モードごとに点灯するステータスLED	60
モジュール式バッテリーキャビネットのステータスLED	61
アラームメッセージ	62
UPSレポートのUSBデバイスへのエクスポート	72

重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいてください

ここに記載されている指示を注意深く読み、装置の設置、操作、整備、保守を行う前に装置についてよく理解してください。以下の安全に関するメッセージは、危険の可能性を警告するため、または手順を明確または簡潔にする情報への注意を喚起するために、このマニュアルまたは装置を通じて随所に記載されています。



「危険」または「警告」の安全に関するメッセージに対する記号の説明は、指示に従わないと人体への危害を引き起こす電気的な危険性があることを示しています。



これは安全警報の記号です。人体への危害の危険性があることを警報するために使用されます。人体への危害や死亡の可能性を避けるため、この記号が付いた安全に関するメッセージすべてに従ってください。

▲ 危険

「危険」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになる危険な状況を示します。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

▲ 警告

「警告」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示します。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

▲ 注意

「注意」は、指示に従わないと、軽傷を負う可能性がある危険な状況を示します。

上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

注記

「注記」は、人体への危害に関連しない実務に対応するために使用されます。安全警報の記号は、このタイプの安全に関するメッセージには使用しないものとします。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

ご注意ください

電気機器は有資格者のみが設置、操作、修理、保守するものとします。この資料を使用することに起因するいかなる結果についても、Schneider Electricは責任を負わないものとします。

有資格者とは、電気機器の構造、設置、操作に関するスキルと知識を持ち、危険を認識して回避するための訓練を受けた者です。

FCCステートメント

注記： 本製品は、FCC規則パート15クラスAデジタル機器の基準に準拠していることが検査によって確認されています。この基準は、本製品を業務用環境下で使用する際に、有害な干渉に対して適切な対策を講じる目的で規定されたものです。本製品は無線周波を生成、使用します。また放射する可能性もあります。マニュアルの指示に従って適切に取り付け、使用しないと、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。本製品を住宅地域で使用すると、有害な干渉が発生する可能性があります。その場合、本製品の使用者が、有害な干渉を是正するための措置を自費で講じる必要があります。

準拠の責任を負う当事者の明示的な許可を得ることなく改修や改造を行った場合は、本製品の使用権が無効になる場合があります。

電磁適合性

注記

電磁波障害のおそれ

本製品は、カテゴリC2に属するUPS製品です。居住環境では本製品により無線干渉が発生する可能性があり、そのような場合にはユーザーによる追加措置が必要とされることがあります。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

安全性に関する注意

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この文書に記載されている安全に関する指示をすべて読み、理解し、順守する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

UPSシステムは、ケーブル配線された後であってもスタートアップさせないでください。Schneider Electric社以外による起動は許容されません。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

ENERGY STAR認定

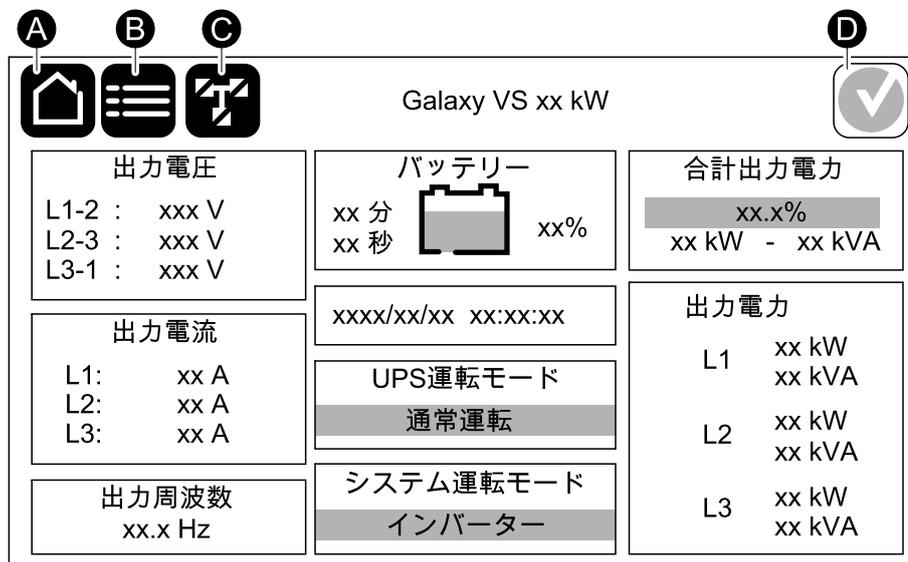


一部のモデルはENERGYSTAR®の認定を受けています。特定のモデルの詳細については、www.se.comにアクセスしてください。

ユーザーインターフェースの概要

ディスプレイ

ホーム画面の概要



- A. ホームボタン - 任意の画面でここをタップしてホーム画面に戻ります。
- B. メインメニューボタン - ここをタップしてメニューにアクセスします。
- C. 模擬図ボタン - ここをタップして模擬図にアクセスします。
- D. アラームステータス記号 - ここをタップしてアクティブなアラームログにアクセスします。

ホーム画面の出力フィールドやバッテリーフィールドをタップすると、詳細な計測ページに直接移動できます。

メインメニュー



ホーム画面のメインメニューボタンをタップしてメニューにアクセスします。



模擬図

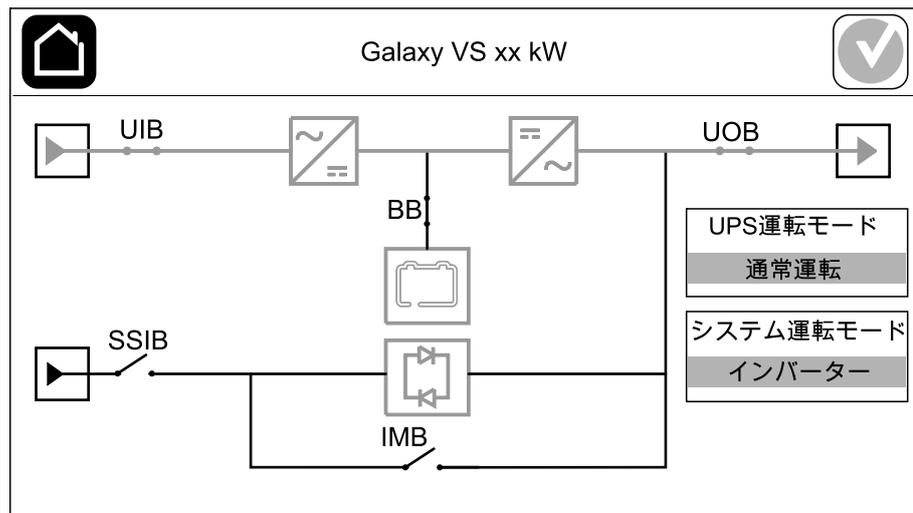
模擬図はシステムの構成に従って適合します。ここに示す模擬図は一例に過ぎません。

模擬図にある緑色の電力ライン（図ではグレー）は、UPSシステムの中の電力の流れを示しています。アクティブモジュール（インバーター、整流器、バッテリー、スタティックバイパススイッチなど）は緑色の枠で囲まれ、無効なモジュールは黒の枠で囲まれています。赤枠で囲まれたモジュールは、動作不能またはアラーム状態です。

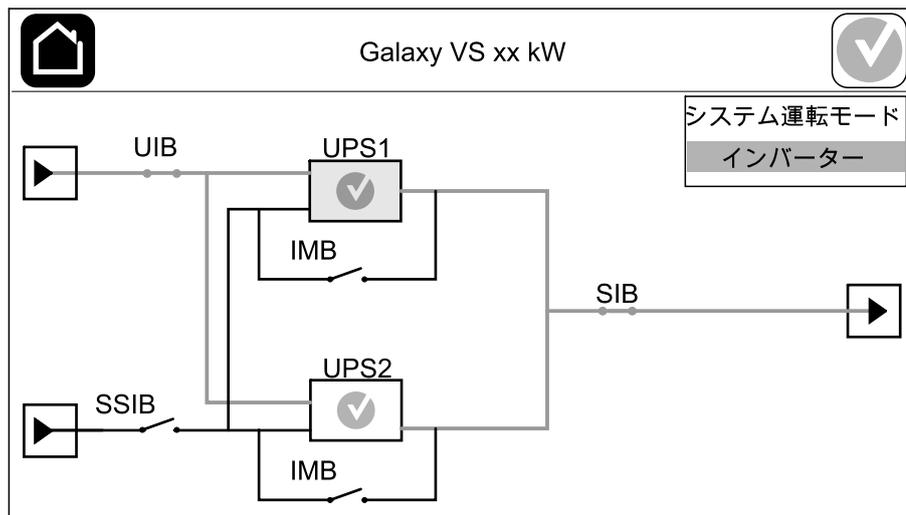
並列システムの模擬図でグレーのUPSをタップし、UPSレベルの模擬図を確認します。

注記： 複数のバッテリーブレーカーを接続して監視用に設定している場合でも、模擬図には1台のバッテリーブレーカーのみが表示されます。監視対象の1つ以上のバッテリーブレーカーが閉の位置にある場合は、模擬図のバッテリーブレーカーは閉の位置で示されます。監視対象のすべてのバッテリーブレーカーが開の位置にある場合は、模擬図のバッテリーブレーカーは開の位置で示されます。

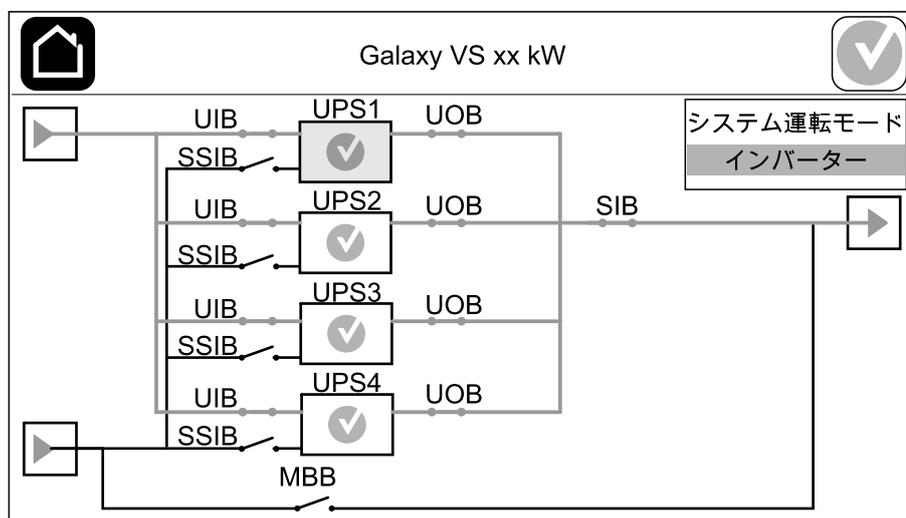
単機UPS – デュアル給電の例



1+1簡易並列システム – デュアル給電の例



並列システム – デュアル給電の例



アラームステータスシンボル

ディスプレイの右上隅にあるアラームステータス記号 (図ではグレー) は、UPSシステムのアラームステータスに応じて変化します。

	緑色：UPSシステムにはアラームはありません。
	青色：UPSシステムに情報アラームがあります。アラームステータス記号をタップすると、アクティブなアラームログが開きます。
	黄色：UPSシステムに警告アラームがあります。アラームステータス記号をタップすると、アクティブなアラームログが開きます。
	赤色：UPSシステムに重大なアラームがあります。アラームステータス記号をタップすると、アクティブなアラームログが開きます。

メニューツリー

- ステータス
 - 入力
 - 出力
 - バイパス
 - バッテリー
 - 温度
 - 並列¹
- ログ
- コントロール²
 - 運転モード
 - インバーター
 - 充電器
 - ガイド付きシーケンス
- 設定²
 - UPS
 - 出力
 - バッテリー
 - 高効率
 - ブレーカー
 - 接点とリレー
 - ネットワーク
 - Modbus
 - リマインダー
 - 一般
 - 保存 / 復元
 - 更新ステータス
 - 負荷制限 :
- 保守
 - ブザー
 - ステータスLED
 - ブレーカーランプ[◦]
 - バッテリー²
 - ランタイム校正²
 - バッテリーの交換²
 - UPSレポート²
- 統計
- 概要
- ログアウト
- フラグボタン – ディスプレイ言語の設定, 35 ページを参照してください。

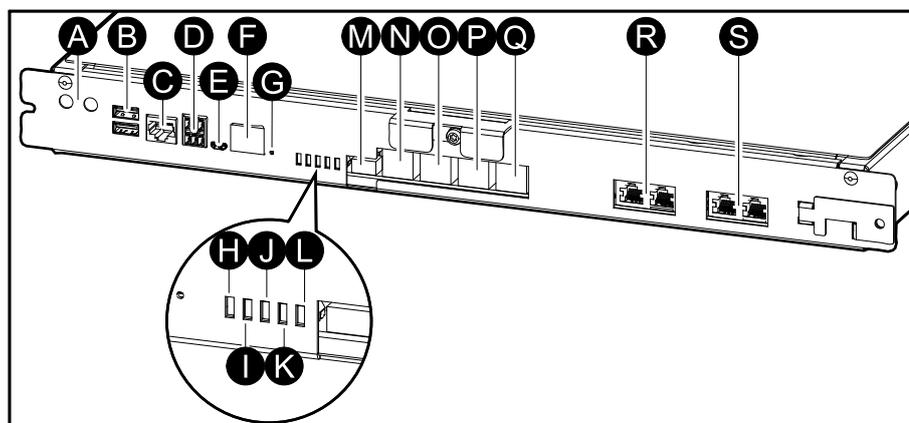
一部のメニューには、このマニュアルに説明されていないサブメニューが含まれています。これらのサブメニューはグレー表示されており、不要な負荷の影響を避けるためにSchneider Electricのみが使用します。また、このUPSシステムと関連がない、またはまだリリースされていない場合は、その他のメニュー項目もグレー表示/表示されないようにすることもできます。

1. このメニューは、並列システムでのみ使用できます。
2. このメニューへのアクセスには管理者ログインが必要です。

コントローラーセクション

注記：コントローラーセクションにアクセスするには、前面パネルを取り外します。

コントローラーセクションの前面



- A. インバーターON/OFFボタン
- B. USBポート³
- C. ユニバーサルI/O³
- D. Modbusポート³
- E. USBマイクロBポート³
- F. ネットワークポート³
- G. リセットボタン³
- H. 入力ステータスLED⁴
- I. インバータステータスLED⁴
- J. 出力ステータスLED⁴
- K. バイパスステータスLED⁴
- L. バッテリーステータスLED⁴
- M. ディスプレイ電源
- N. ディスプレイポート
- O. サービスポート⁵
- P. 予備
- Q. 予備
- R. PBUS 1⁶
- S. PBUS 2⁶

3. 内蔵ネットワーク管理カード用。

4. UPS運転モードごとに点灯するステータスLED, 60 ページを参照してください。

5. サービスポートを使用できるのは、Schneider Electricのフィールドサービスエンジニアのみです。フィールドサービスエンジニアは、Schneider Electricの認定ツールを使用して、ユニットの設定、ログの取得、ファームウェアのアップグレードを行います。これら以外の目的でサービスポートを使用することはできません。サービスポートがアクティブな状態になるのは、フィールドサービスエンジニアがUPSの近くで作業を行う際に、サービスポートを手動で接続する場合のみです。サービスポートをネットワークに接続しないでください。サービスポートは、ネットワークに接続して使用することを意図していないため、サービスポートをネットワークに接続すると、ネットワークで障害が発生する可能性があります。

6. UPSの稼働中にPBUS 1を切断しないでください。PBUS 1をネットワークに接続しないでください。サービスポートは、ネットワークに接続して使用することを意図していないため、サービスポートをネットワークに接続すると、ネットワークで障害が発生する可能性があります。

運転モード

Galaxy UPSには2つの異なるレベルの運転モードがあります。

- **UPS運転モード**：運転中のUPSの運転モード。UPS運転モード, 12 ページを参照してください。
- **システム運転モード**：負荷に給電するUPSシステム全体の運転モードシステム運転モード, 15 ページを参照してください。

UPS運転モード

eConversion運転モード

EConversion運転は、最大保護と最高効率の組み合わせを提供し、UPSが吸収する電力をダブルコンバージョンと比較して3分の1に減らすことができます。EConversion運転は現在一般的に推奨されている運転モードで、UPSのデフォルトで有効になっていますが、ディスプレイメニューで無効にすることができます。EConversion運転を有効にすると、常に有効にするか、ディスプレイメニューで設定したスケジュールで有効にするかを設定できます。

EConversion運転の場合、商用電源 / 主電源が許容範囲内であれば、UPSはスタティックバイパス経由で負荷の有効部分に給電することができます。インバーターはバイパス電源と並行して運転を継続することで、UPSの入力力率は負荷力率に関係なく、1に近い値で維持されます。負荷の無効部分は、UPSの入力電流において大幅に低減するからです。商用電源 / 主電源の給電に瞬断が発生した場合、インバーターは直ちに出力電圧を維持し、EConversion運転モードからダブルコンバージョンへの切り替えを中断することなく行うことができます。UPSがEConversion運転モードになっている場合、バッテリーが充電し、高調波補償も行います。

UPSのGalaxy VSは、以下の条件でeConversion運転モードが使用可能です。

- UPSの負荷が最小5%。
- 電圧変動が公称電圧に対して10%以下 (3% ~ 10%の範囲で設定可能) 。
- 総合高調波電圧歪み (THDU) が5%以下。

これらの条件が満たされない場合、UPSはダブル変換に切り替えられ、再び条件が満たされたときにeConversion運転に戻ります。

注記： 並列システム内の1台のUPSでEConversion運転モード設定の変更が行われると、その設定は並列システム内のすべてのUPSで共有されます。

注記： 発電機が使用され、周波数変動が見られる場合 (通常、小型化が原因)、発電機がオンの間、高効率モードを無効にするために入力接点を設定することが推奨されます。

注記： 外部同期が必要な場合は、一般的にEConversion運転を無効にすることが推奨されます。

ダブルコンバージョン (通常運転)

UPSは調整された電源で負荷をサポートします。ダブルコンバージョンモードでは、永久的にシステム出力に完全な正弦波を作りますが、この操作はより多くの電力を消費します。

バッテリー運転

商用電源 / 主電源で障害が発生すると、UPSはバッテリー運転に切り替わり、調整された直流電源によって負荷がサポートされます。

要求スタティックバイパス運転

ディスプレイでコマンドを実行して、UPSを要求スタティックバイパス運転に切り替えることができます。要求スタティックバイパス運転中は、バイパス電源から負荷に給電されます。障害が検出された場合、UPSはダブルコンバージョン（通常運転）または強制スタティックバイパス運転に切り替わります。要求スタティックバイパス運転中に商用電源 / 主電源に瞬断があった場合、UPSはバッテリー運転に切り替わります。

強制スタティックバイパス運転

UPSでコマンドを実行した場合や、UPSでインバーターOFFボタンを押した場合、UPSが強制スタティックバイパス運転モードになります。強制スタティックバイパス運転中は、バイパス電源から負荷に給電されます。

注記： UPSが強制スタティックバイパス運転中に、バッテリーを代替電源として利用することはできません。

内部保守ブレーカーIMB経由の内部保守バイパス運転

内部保守ブレーカーIMBが閉じられると、UPSは内部保守バイパス運転に切り替わります。このモードの場合、調整されていないバイパス電源の電力が給電されます。内部保守ブレーカーIMB経由の内部保守バイパス運転中に、パワーモジュール、スタティックバイパススイッチモジュール、コントローラーボックスのサービスおよび交換を行うことができます。内部保守ブレーカーIMBは、単機システムおよび外部保守バイパスブレーカーなしの1+1簡易並列システムでのみ使用することができます。

注記： UPSが内部保守バイパス運転中に、バッテリーを代替電源として利用することはできません。

保守バイパスブレーカーMBB経由の外部保守バイパス運転

外部保守バイパスパネル / キャビネットまたはサードパーティのスイッチギアで保守バイパスブレーカーMBBが閉じられると、UPSは外部保守バイパス運転に切り替わります。このモードの場合、調整されていないバイパス電源の電力が給電されます。保守バイパスブレーカーMBB経由の外部保守バイパス運転中に、UPS全体のサービスおよび交換を行うことができます。

注記： UPSが外部保守バイパス運転中に、バッテリーを代替電源として利用することはできません。

スタティックバイパススタンバイ運転モード

スタティックバイパススタンバイ運転モードは、並列システム内の個々のUPSにのみ適用されます。UPSを強制スタティックバイパス運転モードに切り替えることができず、並列システムの他のUPSで負荷をサポートできる場合は、UPSがスタティックバイパススタンバイ運転モードになります。スタティックバイパススタンバイ運転モードでは、特定のUPS出力はオフになります。可能な場合、UPSは適切な運転モードに自動的に切り替わります。

注記： 他のUPSが負荷をサポートできない場合、並列システムは強制スタティックバイパス運転モードに切り替わります。スタティックバイパススタンバイ運転モードのUPSは、強制スタティックバイパス運転モードに切り替わります。

バッテリーテストモード

UPSでバッテリーのセルフテストまたはランタイム較正が実行されている場合は、UPSがバッテリーテスト運転モードになります。

注記： 商用電源 / 主電源による給電が中断するか、重大アラームが存在する場合、バッテリーテストは中止され、UPSは商用電源 / 主電源の復帰時に通常運転に戻ります。

ECOモード運転

ECOモード運転では、電力の状態が許容範囲内である限り、UPSは要求スタティックバイパスを使用して負荷に給電します。障害が検出された場合（バイパス電圧が許容範囲外、出力電圧が許容範囲外、停電など）、UPSはダブルコンバージョン（通常運転）または強制スタティックバイパス運転に切り替わります。切り替え状態によっては、負荷給電に最小限の瞬断が発生する場合があります（最大10ミリ秒）。UPSがECOモード運転になっている場合は、バッテリーが充電されます。ECOモード運転の主な利点は、ダブルコンバージョンに比べて電力消費量を削減できるということです。

注記： 並列システム内の1台のUPSでECOモード運転設定の変更が行われると、その設定は並列システム内のすべてのUPSで共有されます。

オフモード

UPSは負荷に給電しません。バッテリーが充電され、ディスプレイはオンになっています。

システム運転モード

システム運転モードは、周囲のスイッチギアを含むUPSシステム全体の出力ステータス、および負荷に給電する電源を示します。

eConversion運転モード

ECOConversion運転は、最大保護と最高効率の組み合わせを提供し、UPSが吸収する電力をダブルコンバージョンと比較して3分の1に減らすことができます。ECOConversion運転は現在一般的に推奨されている運転モードで、UPSのデフォルトで有効になっていますが、ディスプレイメニューで無効にすることができます。ECOConversion運転を有効にすると、常に有効にするか、ディスプレイメニューで設定したスケジュールで有効にするかを設定できます。

ECOConversion運転の場合、商用電源 / 主電源が許容範囲内であれば、UPSシステムはスタティックバイパス経由で負荷の有効部分に給電することができます。インバーターはバイパス電源と並行して運転を継続することで、UPSシステムの入力力率は負荷力率に関係なく、1に近い値で維持されます。負荷の無効部分は、UPSシステムの入力電流において大幅に低減するからです。商用電源 / 主電源の給電に瞬断が発生した場合、インバーターは直ちに出力電圧を維持し、ECOConversion運転モードからダブルコンバージョンへの切り替えを中断することなく行うことができます。UPSシステムがECOConversion運転モードになっている場合、バッテリーが充電し、高調波補償も行います。

UPSシステムのGalaxy VSは、以下の条件でeConversion運転モードが使用可能です。

- 並列システムの負荷が最小5%。
- 電圧変動が公称電圧に対して10%以下 (3% ~ 10%の範囲で設定可能) 。
- 総合高調波電圧歪み (THDU) が5%以下。

これらの条件が満たされない場合、UPSシステムはダブル変換に切り替えられ、再び条件が満たされたときにeConversion運転に戻ります。

注記： 並列システム内の1台のUPSでECOConversion運転モード設定の変更が行われると、その設定は並列システム内のすべてのUPSで共有されます。

注記： 発電機が使用され、周波数変動が見られる場合 (通常、小型化が原因) 、発電機がオンの間、高効率モードを無効にするために入力接点を設定することが推奨されます。

注記： 外部同期が必要な場合は、一般的にECOConversion運転を無効にすることが推奨されます。

インバーター運転

インバーター運転モードでは、負荷はインバーターによって給電されます。UPSシステム運転モードがインバーター運転のとき、UPS運転モードはダブルコンバージョン (通常運転) またはバッテリー運転のいずれかになります。

要求スタティックバイパス運転

UPSシステムが要求スタティックバイパス運転モードの間は、バイパス電源から負荷に給電されます。障害が検出された場合、UPSシステムはインバーター運転または強制スタティックバイパス運転に切り替わります。

強制スタティックバイパス運転

UPSシステムでコマンドを実行した場合や、UPSでインバーターOFFボタンを押した場合、UPSシステムが強制スタティックバイパス運転モードになります。強制スタティックバイパス運転モードの間は、バイパス電源から負荷に直接給電されます。

注記： UPSシステムが強制スタティックバイパス運転中に、バッテリーを代替電源として利用することはできません。

保守バイパス運転

保守バイパス運転モードの間は、バイパス電源から保守バイパスブレーカー-MBBを経由して調整されていない電力が負荷に直接給電されます。

注記： UPSシステムが保守バイパス運転中に、バッテリーを代替電源として利用することはできません。

ECOモード運転

ECOモード運転では、電力の状態が許容範囲内である限り、UPSシステムは要求スタティックバイパスを使用して負荷に給電します。障害が検出された場合（バイパス電圧が許容範囲外、出力電圧が許容範囲外、停電など）、UPSシステムはダブルコンバージョン（通常運転）または強制スタティックバイパス運転に切り替わります。切り替え状態によっては、負荷給電に最小限の瞬断が発生する場合があります（最大10ミリ秒）。UPSシステムがECOモード運転になっている場合は、バッテリーが充電されます。ECOモード運転の主な利点は、ダブルコンバージョンに比べて電力消費量を削減できるということです。

注記： 並列システム内の1台のUPSでECOモード運転設定の変更が行われると、その設定は並列システム内のすべてのUPSで共有されます。

オフモード

UPSシステムは負荷に給電しません。バッテリーが充電され、ディスプレイはオンになっています。

設定

UPS入力の設定

注記：この設定は、UPSを適切に操作するために必須の設定です。

1. **設定 > UPS**をタップします。
 - a. **主電源設定**を**シングル給電**または**デュアル給電**に設定します。
 - b. **インバーター自動起動**の機能を有効化する場合は、これを選択してください。**インバーター自動起動**が有効化されている場合は、バッテリーの消耗によるシャットダウンの後で入力電圧が戻ると自動的にインバーターが起動します。

⚠⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険性

UPSで作業を行う前に、正しいロックアウト/タグアウト手順を必ず実行してください。自動起動機能が有効になっている場合、主電源が戻ったときに自動的にUPSが再起動します。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

- c. **変圧器があります**を**変圧器がありません**、**入力変圧器**、または**出力変圧器**に設定します。

🏠 設定UPS✔

主電源設定 ● シングル給電
 ○ デュアル給電

インバーター自動起動

変圧器があります 変圧器がありません ▼

OKキャンセル

2. **OK**をタップして設定を保存します。

出力の設定

注記： この設定は、UPSを適切に操作するために必須の設定です。

1. **設定 > 出力**をタップします。
 - a. ご使用の設定に応じて、**交流線間電圧**を**200VAC**、**208VAC**、**220VAC**、**380VAC**、**400VAC**、**415VAC**、または**480VAC**に設定します。(これらの電圧が使用できない地域もあります。)
 - b. ご使用の設定に応じて、**周波数**を**50Hz ±1.0**、**50Hz ±3.0**、**50Hz ±10.0**、**60Hz ±1.0**、**60Hz ±3.0**、または**60Hz ±10.0**に設定します。
 - c. **OK**をタップして設定を保存し、矢印記号をタップして次のページに移動します。

Home icon | 設定 | 出力 | Checkmark icon

交流線間電圧

200VAC 380VAC

208VAC 400VAC

220VAC 415VAC

480VAC

周波数

50Hz +/-1.0 60Hz +/-1.0

50Hz +/-3.0 60Hz +/-3.0

50Hz +/-10.0 60Hz +/-10.0

← 1/2 → OK キャンセル

- d. **バイパスおよび出力許容範囲 (%)**を設定します。バイパスおよび出力許容範囲は+3% ~ +10%で、デフォルトは+10%です。
- e. **電圧補償 (%)**を設定します。UPSの出力電圧は最大±3%まで調整可能で、さまざまなケーブルの長さに対応できます。
- f. **過負荷しきい値 (%)**を設定します。過負荷しきい値の範囲は0% ~ 100%で、デフォルトは75%です。
- g. **変圧器電圧補償 (%)**を設定します。変圧器電圧補償の範囲は0% ~ 3%で、デフォルトは0%です。詳細については、出力変圧器電圧の補正, 19 ページを参照してください。出力変圧器があると設定する場合は、UPS入力の設定, 17 ページを参照してください。
- h. **OK**をタップして設定を保存します。

 設定
出力 

バイパスおよび出力許容範囲 (%)

電圧補正 (%)

過負荷しきい値 (%)

変圧器電圧補正 (%)

 2/2 

出力変圧器電圧の補正

出力変圧器に対する補正操作を行い、電圧降下 (0 ~ 3%) を調整することができます。

1. 負荷をUPSから切り離します。
2. 負荷0%で変圧器の二次側の電圧を測定してください。その後、**電圧補正 (%)** 設定を使用して電圧出力を補正し、UPSの出力電圧を手動で調整します。
3. 負荷をUPSに接続します。
4. 負荷X%で変圧器の二次側の電圧を再度測定してください。また、**変圧器電圧補正 (%)** 設定を使用して変圧器の電圧降下補正值を設定し、UPSの出力電圧を調整してください。

特定の負荷に必要な変圧器の電圧補正を使用して、出力負荷率に応じてUPSで出力電圧の自動線形調整を行います。

バッテリーソリューションの設定

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーの設定には、バッテリー、バッテリーの構成、そして必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者以外はアクセスしないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

1. **設定** > **バッテリー**をタップします。
2. バッテリーソリューションタイプを選択します。
 - a. 標準Galaxy VSバッテリーソリューションを使用していて、特定のバッテリー設定の商用参照名をドロップダウンリストから選択する場合は、**標準**を選択します。
 - b. モジュール式Galaxy VSバッテリーソリューションを使用している場合は、**モジュール式**を選択します。
 - c. カスタムバッテリーソリューションを使用している場合は、**カスタム**を選択します。

🏠 設定
🔋 バッテリー
✔️

バッテリーソリューション

標準
 ▼

カスタム

モジュール式

3. 一般設定をタップし、以下のパラメーターを設定します。

注記： 各ページで、**OK**をタップして設定を保存し、矢印記号をタップして次のページに移動します。モジュール式バッテリーソリューションに使用できる設定は、最初の3つの設定のみになります。

バッテリーブレイカーに接続されたバッテリーキャビネット数 / モジュール式バッテリーキャビネットの数	各バッテリーブレイカーに接続されているバッテリーキャビネットの数を設定します / UPSに接続されているモジュール式バッテリーキャビネットの数を設定します。
低ランタイム警告 (秒)	低ランタイム警告を有効化する場合のランタイム残り時間のしきい値を秒単位で設定します。
充電容量 (%)	UPSの公称定格電力の最大充電容量をパーセントで設定します。
最小しきい値 (°C)	バッテリーの最低許容温度を摂氏または華氏で設定します。温度がこのしきい値を下回るとアラームが発生します。
最大しきい値 (°C)	バッテリーの最大許容温度を摂氏または華氏で設定します。温度がこのしきい値を上回るとアラームが発生します。
充電器オートブーストモード	充電器オートブーストモードを有効にする場合は選択します。この機能は、システムがバッテリー運転で稼働されると、充電器を自動的にブーストモードに切り替えます。
サイクル充電モード	サイクル充電モードを有効にする場合は選択します。サイクル充電を有効にすると、システムはフロート充電と停止を循環します。この機能は、永続的なフロート充電によるバッテリーへのストレスを与えることがないよう、バッテリー充電状態を継続的に維持するものです。
テスト間隔	UPSのバッテリーテストを実行する間隔を設定します。
テスト曜日	バッテリーテストを実行する曜日を設定します。
テスト開始時刻hh:mm	バッテリーテストを実行する時刻を設定します。

4. **カスタムバッテリーソリューションの場合のみ**：詳細設定をタップし、以下のパラメーターを設定します。

注記：各ページで、**OK**をタップして設定を保存し、矢印記号をタップして次のページに移動します。

バッテリータイプ	バッテリータイプを選択します。
バッテリー中間点接続済み	バッテリー中間点が接続されている場合は選択します。
温度モニタリングを無効化	バッテリー温度モニタリングを無効にする場合は選択します。
ブロックあたりのバッテリー容量 (Ah)	各バッテリーブレイカーに接続されているバッテリーバンクの、バッテリーブロックあたりのバッテリー容量をアンペア時で設定します。
並列バッテリーストリング数	各バッテリーブレイカーに接続されているバッテリーバンクの、並列に接続されているバッテリーストリングの数を設定します。
ストリングあたりのバッテリー数	バッテリーストリングあたりのバッテリーブロックの数を設定します。
ブロックあたりのバッテリーセル数	バッテリーブロック内のバッテリーセルの数を設定します。
バッテリーセル直流電圧 (V)	<p>フロート充電のバッテリーセルあたりの充電電圧を設定します。 フロート充電はすべてのタイプのバッテリーに使用できる基本的な充電機能で、充電器によって自動的に開始されます。</p> <p>ブースト充電のバッテリーセルあたりの充電電圧を設定します。 ブースト充電は迅速な充電を可能にし、放電したバッテリーをすばやく復元します。</p> <p>均等充電のバッテリーセルあたりの充電電圧を設定します。 均等充電はオープンセルバッテリーの電圧のばらつきを均等化する際に使用されます。この充電方法では最も高い充電電圧レベルを使用します。均等充電を実施するとオープンセルバッテリーによって水が蒸発するため、充電の完了後に補水する必要があります。</p>
充電時間 (秒)	ブースト充電 および 均等充電 の充電時間を秒単位で設定します。
バッテリーセル直流シャットダウン電圧 (V)	バッテリーのシャットダウン時のバッテリーセルあたりの電圧レベルを設定します。
公称温度 (°C) / 公称温度 (°F)	公称温度を摂氏または華氏で設定します。
充電電流率	充電電流率を設定します。
ブースト充電を許可	バッテリーのブースト充電を許可する場合は選択します。 ブースト充電は迅速な充電を可能にし、放電したバッテリーをすばやく復元します。
バッテリーの深放電を許可	UPSをバッテリー運転で稼働しているときにバッテリーの深放電を許可する場合は選択します。この機能は、通常の推奨値より低い電圧レベルでのバッテリーの放電を許可します。バッテリーが損傷する恐れがあることに注意してください。
バッテリーの自動切断を有効化	バッテリーの自動切断を有効にする場合は選択します。この機能は、UPSシステムの出力がオフになっていて、バッテリーを充電できない状態が以下に示す期間続くと、バッテリーブレイカーをトリップして、バッテリーの深放電を回避します。 <ul style="list-style-type: none"> 2週間。 バッテリーセル電圧が低電圧シャットダウンレベルを下回った場合は10分。

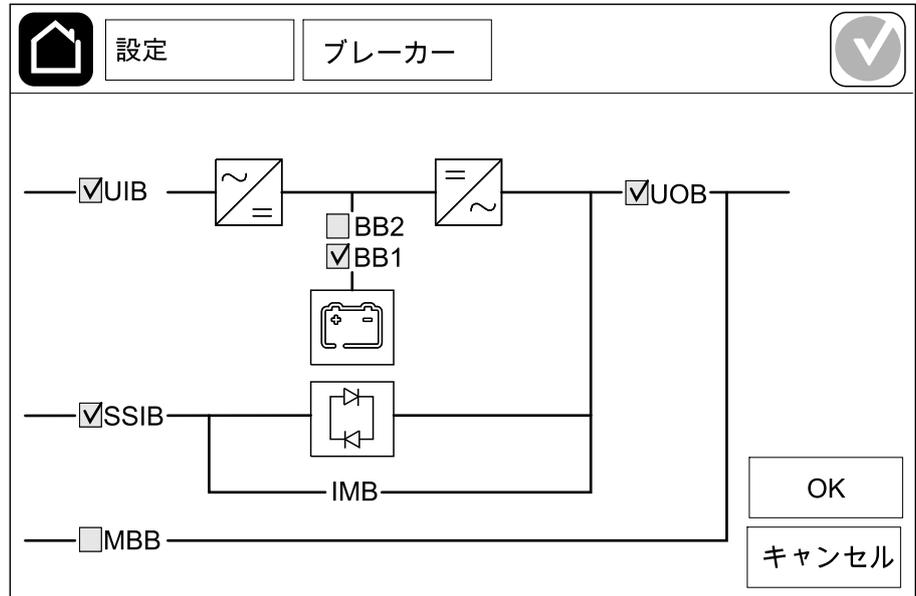
高効率モードの設定

1. **設定 > 高効率**をタップします。
2. **高効率モード**で**無効化**、**ECOモード運転**、**eConversion運転**のいずれかを選択します。
注記： **ECOモード運転**を有効にする場合は、Schneider Electricにお問い合わせください。
3. 該当する場合は、**eConversion高調波補正**を選択します。
4. **高効率スケジュール**で**スケジュールに合わせて有効**、**常に有効**、**常に無効**のいずれかを選択します。
 - a. **スケジュールに合わせて有効**を選択した場合は、**スケジュール**をタップして必要なスケジュールを設定して有効にします。

ブレーカーの設定

注記： この設定は、UPSを適切に操作するために必須の設定です。

1. **設定 > ブレーカー**をタップします。
2. 模擬図で異なるブレーカーをタップして、UPSシステムに存在するブレーカーを設定します。の付いた正方形はブレーカーが存在することを意味し、空の正方形はブレーカーが存在しないことを示しています。灰色の正方形はブレーカーがUPSシステムに自動的に設定されていることを意味します。



注記： UPSは、標準バッテリーソリューションで最大2台のバッテリーブレーカーを監視できます。UPSは、モジュール式バッテリーソリューションで最大4台のバッテリーブレーカーを監視できます。これはUPSによって自動的に設定されます。複数のバッテリーブレーカーを接続して監視用に設定している場合でも、模擬図には1台のバッテリーブレーカーのみが表示されます。監視対象の1つ以上のバッテリーブレーカーが閉の位置にある場合は、模擬図のバッテリーブレーカーは閉の位置で示されます。監視対象のすべてのバッテリーブレーカーが開の位置にある場合は、模擬図のバッテリーブレーカーは開の位置で示されます。

3. **OK**をタップして設定を保存します。

入力接点の設定

1. **設定 > 接点とリレー**をタップして、設定する入力接点を選択します。
2. 選択した入力接点のドロップダウンリストから機能を選択します。

設定
接点とリレー

入力接点1

発電機がUPSに給電中 ▼

発電機からの給電中のバッテリー
一充電電力

0% 50%

10% 75%

25% 100%

OK

キャンセル

<p>なし：この入力接点に割り当てられた操作はありません。</p>	<p>発電機がUPSに給電中：UPSが発電機から給電されていることを示すための入力。UPSが発電機から給電されている間は、バッテリー充電電流の削減も選択する必要があります。発電機からの給電中のバッテリー充電電力を0%（充電なし）、10%、25%、50%、75%、100%（フル充電）のいずれかに設定します。発電機からの給電中のバッテリー充電電力は、この機能に対してのみ選択することができます。</p>
<p>地絡障害：地絡障害が発生していることを示すための入力。</p>	<p>バッテリー室換気装置が作動不能：バッテリー室を換気できないことを示すための入力。入力がアクティブになると、バッテリー充電器がオフになります。</p>
<p>ユーザー定義1：汎用的な入力。</p>	<p>社外バッテリーモニターで障害検出：社外バッテリーモニタリングによって障害が検出されたことを示すための入力。入力がアクティブになると、UPSはアラームを送信します（他のアクションはありません）。</p>
<p>ユーザー定義2：汎用的な入力。</p>	<p>高効率モード無効：この入力を有効にすると、UPSを高効率モード（ECOモード運転およびeConversion運転モード）に切り替えることはできません。また、アクティブな高効率モードは終了します。</p>
<p>外部蓄電モニターによってマイナーな障害が検出されました：外部蓄電モニタリングによってマイナーな障害が検出されたことを示すための入力。</p>	<p>外部信号により充電器をオフにします：この入力を有効にすると、外部蓄電からの信号など、外部機器からの信号で充電器はオフになります。</p>
<p>外部蓄電モニターによってメジャーな障害が検出されました：外部蓄電モニタリングによってメジャーな障害が検出されたことを示すための入力。</p>	<p>変圧器の温度が高過ぎます：変圧器の高温アラームが発生していることを示すための入力。</p>

3. **OK**をタップして設定を保存します。

出力リレーの設定

1. **設定 > 接点とリレー**をタップして、設定する出力リレーを選択します。
2. **遅延 (秒)**を設定します。
3. **通電チェックモード**を有効にします (初期設定では無効になっています)。
通電チェックモードを有効にすると、出力リレーがアクティブになり、出力リレーに割り当てられているイベントが発生すると非アクティブになります (通常はアクティブ)。
通電チェックモードを無効にすると、出力リレーが非アクティブになり、出力リレーに割り当てられているイベントが発生するとアクティブになります (通常は非アクティブ)。
通電チェックモードは、出力リレーごとに個別に有効にする必要があります。こうすることにより、各出力リレーが稼働していない場合を検出できるようになります。
 - 出力リレーに対する給電が停止した場合、すべての出力リレーに割り当てられたイベントは、存在するものとして表示されます。
 - いずれか1つの出力リレーが稼働しなくなった場合、その出力リレーにイベントに割り当てられたイベントは、存在するものとして表示されます。
4. 出力リレーに割り当てるイベントを選択します。各ページで、**OK**をタップして設定を保存し、矢印記号をタップして次のページに移動します。

	設定	接点とリレー	
出力リレー1			
遅延 (秒)	<input type="text" value="11"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 通電チェックモード	
<input checked="" type="checkbox"/>	UPS共通アラーム		
<input checked="" type="checkbox"/>	UPS情報アラーム		
<input checked="" type="checkbox"/>	UPS警告アラーム		
 1/5 		OK	キャンセル

注記：複数の機能を同じ出力レーに割り当てることができます。

UPS共通アラーム ：UPSに対してアラームが発生すると、出力がトリガーされます。	UPS保守モード ：ユニット出力ブレーカーUOBがオープンになっている場合に出力がトリガーされ、UPSは保守モードに切り替わります。UPSは負荷に給電しません。
UPS情報アラーム ：UPSに対して情報アラームが発生すると、出力がトリガーされます。	外部障害 ：UPSが外部障害を検出すると、出力がトリガーされます。
UPS警告アラーム ：UPSに対して警告アラームが発生すると、出力がトリガーされます。	ファン動作不能 ：1つ以上のファンが稼働できなくなった場合に、出力がトリガーされます。
UPS重大アラーム ：UPSに対して重大アラームが発生すると、出力がトリガーされます。	バッテリー電圧低下 ：バッテリー電圧がしきい値を下回った場合に、出力がトリガーされます。
システム共通アラーム ：システムに対してアラームが発生すると、出力がトリガーされます。	バッテリーの動作異常 ：バッテリーが正しく動作していない場合に、出力がトリガーされます。
システム情報アラーム ：システムに対して情報アラームが発生すると、出力がトリガーされます。	バッテリー切断 ：バッテリーに接続されていない場合や、バッテリーブレーカーがオープンになっている場合に、出力がトリガーされます。
システム警告アラーム ：システムに対して警告アラームが発生すると、出力がトリガーされます。	インバーター過負荷 ：UPSがインバーター運転中、負荷が高い場合に出力がトリガーされます。
システム重大アラーム ：システムに対して重大アラームが発生すると、出力がトリガーされます。	出力過負荷 ：UPSがインバーター運転中またはバイパス運転中、負荷が高い場合に出力がトリガーされます。
UPS通常運転 ：UPSが通常運転モードの場合に、出力がトリガーされます。	入力許容範囲外 ：入力が許容範囲外になった場合に、出力がトリガーされます。
UPSバッテリー運転 ：UPSがバッテリー運転モードの場合に、出力がトリガーされます。	バイパス許容範囲外 ：バイパスが許容範囲外になった場合に、出力がトリガーされます。
UPSスタティックバイパス運転 ：UPSが強制スタティックバイパス運転モードまたは要求スタティックバイパス運転モードの場合に、出力がトリガーされます。	EPO作動 ：EPOがアクティブになった場合に、出力がトリガーされます。
UPS保守バイパス運転 ：UPSが内部保守バイパス運転モードまたは外部保守バイパス運転モードの場合に、出力がトリガーされます。	負荷制限 ：UPSがバッテリー運転モードの場合、バッテリー充電状態 (SOC) が、設定したしきい値に達したときに、出力がトリガーされます。

5. **OK**をタップして設定を保存します。

ネットワークの設定

内蔵ネットワーク管理カードとオプションのネットワーク管理カード用のネットワークを設定することができます。(ネットワーク管理カードはNMCと表記します)。

1. **設定 > ネットワーク > IPv4**をタップして**内蔵NMC**を選択するか(内蔵ネットワーク管理カードの設定を行う場合)、**オプションのNMC**(オプションのネットワーク管理カードの設定を行う場合)を選択します。
 - a. **アドレスモード**を、**手動**、**BOOTP**、**DHCP**のいずれかに設定します。
 - b. **内蔵NMC IPv4を無効化**または**オプションのNMC IPv4を無効化**を選択してネットワークを無効にすることもできます。
 - c. **OK**をタップして設定を保存します。



設定

ネットワーク



統合されたNMC IPv4を無効にする

アドレスモード 手動 BOOTP DHCP

システムIP	123	12	0	0
サブネットマスク	0	0	0	0
デフォルトゲートウェイ	0	0	0	0

OK

キャンセル

2. **設定 > ネットワーク > IPv6**をタップして**内蔵NMC**を選択するか (内蔵ネットワーク管理カードの設定を行う場合)、**オプションのNMC** (オプションのネットワーク管理カードの設定を行う場合) を選択します。
- a. **DHCPv6モード**を、**アドレスおよびその他の情報**、**アドレス以外の情報のみ**、**IPv6なし**のいずれかに設定します。
 - b. **自動設定**または**手動**を選択します。
 - c. **内蔵NMC IPv6を無効化**または**オプションのNMC IPv6を無効化**を選択してネットワークを無効にすることもできます。
 - d. **OK**をタップして設定を保存します。

 設定ネットワーク 

統合されたNMC IPv6を無効にする

自動設定 ● アドレスおよびその他の情報

手動 ○ アドレス以外の情報のみ

○ Ipv6なし

システムIP

デフォルトゲートウェイ

現在のアドレスOKキャンセル

Modbusの設定

内蔵ネットワーク管理カードとオプションのネットワーク管理カード用のModbusを設定することができます。(ネットワーク管理カードはNMCと表記します)。

1. **設定 > Modbus**をタップして**内蔵NMC**を選択するか(内蔵ネットワーク管理カードの設定を行う場合)、**オプションのNMC**を選択します(オプションのネットワーク管理カードの設定を行う場合)。
 - a. **シリアルModbus**を有効または無効にします。
 - b. **パリティ**を、**なし**、**偶数**、**奇数**のいずれかに設定します。
 - c. **ストップビット**を**1**または**2**に設定します。
 - d. **ボーレート**を**2400**、**9600**、**19200**、**38400**のいずれかに設定します。
 - e. **ターゲット固有ID**を1から247の間に設定します。

注記：バス上のすべてのデバイスは、デバイスアドレスの**ターゲット固有ID**を除いて完全に同じ設定にする必要があります。ターゲット固有IDは各デバイスで固有のIDでなければなりません。バス上の2つのデバイスが同じアドレスを保有することはできません。

- f. **OK**をタップして設定を保存し、矢印記号をタップして次のページに移動します。
- g. **TCP Modbus**を有効または無効にします。
- h. **ポート502**または**ポート[5000 ~ 32768]**を選択します。

- i. **OK**をタップして設定を保存します。

UPS名称の設定

1. **設定 > 一般 > UPS名称**をタップします。
2. UPS名称を設定します。
3. **OK**をタップして設定を保存します。

日付と時刻の設定

1. **設定 > 一般 > 日付と時刻**をタップします。
2. **年、月、日、時、分、秒**をそれぞれ設定します。
3. **OK**をタップして設定を保存します。

ディスプレイ環境設定の設定

1. **設定 > 一般 > ディスプレイ**をタップします。
 - a. 温度単位を**摂氏**または**華氏**に設定します。
 - b. -または+をタップしてディスプレイ輝度を設定します。
 - c. **アラーム音**を**有効化**または**無効化**に設定します。これにより、すべてのアラーム音が有効 / ミュートになります。
 - d. **タッチスクリーン音**を**有効化**または**無効化**に設定します。これにより、すべての表示音 (アラーム音を除く) が有効 / ミュートになります。

ダストフィルターリマインダーの設定

ダストフィルターを交換したら、ダストフィルターリマインダーをリセットします。

1. **設定 > リマインダー**をタップします。

- リマインダーを有効化**を選択すれば、ダストフィルターの交換に関するリマインダーを取得できます。
- リマインダーの間隔を選択します。設置場所の環境に応じて、**1か月**、**3か月**、**6か月**、**1年**のいずれかを選択します。
残り時間 (週)の下に、使用中のダストフィルターの耐用年数があとどのくらい残っているかが表示されます。
- リセット**をタップして、ダストフィルターの耐用年数カウンターをリセットします。

 設定 リマインダー 

ダストフィルター確認

リマインダーを有効化

最初のリマインダーを表示するまでの期間

1か月 3か月 6か月 1年

残り時間 (週) 5

ダストフィルターのカウンターを再起動 リセット

OK キャンセル

2. **OK**をタップして設定を保存します。

負荷制限の設定

負荷制限により、バッテリー運転モード時にUPSがサポートしなければならない負荷に対し優先順位を付けることができます。負荷制限が有効になると、バッテリーの放電時に作動する出力リレーの信号を介して、重要度の低い負荷を制限します。そして、バッテリーが充電され、出力リレー信号が無効になると、重要度の低い負荷を再度サポートします。

1. **負荷制限**に対して最低1つの出力リレーを設定します。詳細については、出力リレーの設定, 26 ページを参照してください。
2. **設定 > 負荷制限**をタップします。
3. **負荷制限を有効化**を選択します。
4. **バッテリー充電状態 (%) で出力リレーを有効にする**を設定します。ここでは、バッテリーの放電時に負荷制限出力リレーを有効にしなければならないバッテリー充電状態を設定します。
5. **バッテリー充電状態 (%) で出力リレーを無効にする**を設定します。ここでは、バッテリーの充電時に負荷制限出力リレーを無効にしなければならないバッテリー充電状態を設定します。この値を0に設定した場合、UPSがバッテリー運転モードを終了しバッテリー充電が開始されると、即座に負荷制限出力リレーが無効になります。
6. **出力リレー無効化遅延 (分)**を設定します。ここでは、負荷制限出力リレーが無効になるまでの遅延を分単位で設定します。この値を0に設定した場合、バッテリー充電状態が、設定した無効化のしきい値に達すると、即座に負荷制限が無効になります。

	設定	負荷制限	
	負荷制限を有効化	<input checked="" type="checkbox"/>	
	バッテリー充電状態 (%) で出力リレーを有効にする	<input type="text" value="xx"/>	
	バッテリー充電状態 (%) で出力リレーを無効にする	<input type="text" value="xx"/>	
	出力リレー無効化遅延 (分)	<input type="text" value="xx"/>	
	OK	キャンセル	

7. **OK**をタップして設定を保存します。

負荷制限に対して出力リレーが設定されていない場合は、警告メッセージが表示されます。出力リレーに対して**負荷制限**を設定するには、出力リレーの設定, 26 ページを参照してください。

UPS設定のUSBデバイスへの保存

注記： UPSは同じUPSで保存された設定のみを受け付けます。他のUPSで保存された設定を再利用することはできません。

1. **設定 > 保存 / 復元**をタップします。
2. 前面パネルを開けます。
3. USBデバイスをUPSのUSBポート1に挿入します。
4. **保存**をタップして、現在のUPS設定をUSBデバイスに保存します。

注記： 保存プロセスが終了するまでUSBデバイスを取り外さないでください。

USBデバイスを使用したUPS設定の復元

注記： UPSは同じUPSで保存された設定のみを受け付けます。他のUPSで保存された設定を再利用することはできません。設定はUPSが保守バイパス運転モードまたはオフモードになっている場合にのみ復元できます。

注記： ディスプレイの電源がオフになるため、シャットダウンシーケンス後にユニット入力ブレーカー (UIB) を開かないでください。

1. **コントロール > ガイド付きシーケンス > UPSシステムのシャットダウン**をタップするか、**コントロール > ガイド付きシーケンス > 並列システム内の1台のUPSをシャットダウン**をタップし、ディスプレイに表示される手順に従います。
2. **設定 > 保存 / 復元**を選択します。
3. 前面パネルを開けます。
4. USBデバイスをUPSのいずれかのUSBポートに挿入します。
5. **復元**をタップして、保存したUPS設定をUSBデバイスから実装します。コントローラーが自動的に再起動するのを待ちます。

注記： 復元プロセスが終了するまでUSBデバイスを取り外さないでください。
6. **コントロール > ガイド付きシーケンス > UPSシステムのスタートアップ**を選択するか、**コントロール > ガイド付きシーケンス > 並列システム内の1台のUPSをスタートアップ**を選択し、ディスプレイに表示される手順に従います。

ディスプレイ言語の設定



1. メインメニュー画面のフラグボタンをタップします。
2. 使用する言語をタップします。

パスワードの変更

1. **ログアウト**をタップします。
2. **設定**をタップします。
3. パスワードを入力します。

注記：管理者のデフォルトのユーザー名およびパスワードは、**admin**です。

4. **パスワードの変更**をタップして、新しいパスワードを入力します。

操作手順

オフモードからのUPSシステムのスタートアップ

注記： この手順を使用して、オフモードから負荷給電なしでUPSをスタートアップします。MBBまたはIMBから負荷給電を行ってUPSをスタートアップしている場合は、UPSシステムの保守バイパス運転からの起動, 39 ページの手順に従ってください。

1. ユニット入力ブレーカー (UIB) を閉じます。
ディスプレイが点灯します。再起動シーケンスは約3分続きます。
2. スタティックスイッチ入力ブレーカー (SSIB) を閉じます (存在する場合) 。
3. バッテリーブレーカーを閉じます (存在する場合) 。
4. ユニット出カブレーカー (UOB) を閉じます。
5. システム絶縁ブレーカー (SIB) を閉じます (存在する場合) 。
6. コントローラーボックスでオンボタンを押すか、インバーターオンに切り替える, 36 ページの手順に従って、インバーターをオンにします。

通常運転からスタティックバイパス運転へのUPSの切り替え

1. コントロール > 運転モード > バイパス運転に切り替えを選択します。
2. 確認画面でOKをタップします。

スタティックバイパス運転から通常運転へのUPSの切り替え

1. コントロール > 運転モード > 通常運転に切り替えを選択します。
2. 確認画面でOKをタップします。

インバーターオフに切り替える

重要: これにより、負荷への給電がオフになります。

1. コントロール > インバーター > インバーターオフを選択します。
2. 確認画面でOKをタップします。

インバーターオンに切り替える

1. コントロール > インバーター > インバーターオンを選択します。
2. 確認画面でOKをタップします。

充電器モードの設定

1. **コントロール > 充電器**をタップします。
2. **フロート、ブースト、または均等**をタップします。
3. 確認画面で**OK**をタップします。

UPSシステムをシャットダウンして保守バイパス運転に切り替える

注記： ブレーカーは対応するブレーカーインジケータランプが点灯しているときにのみ操作してください。

1. **コントロール > ガイド付きシーケンス > UPSシステムのシャットダウン**をタップするか、**コントロール > ガイド付きシーケンス > 並列システム内の1台のUPSをシャットダウン**をタップし、ディスプレイに表示される手順に従います。
2. **外部保守バイパスブレーカー (MBB) が装備されたUPSシステムの場合は、以下に示す一般的なシャットダウン手順を実行します。**

注記： 以下の手順は、あくまでも一般的なシャットダウン手順です。必ず、使用しているシステムの**ガイド付きシーケンス**の手順に従ってください。

- a. **コントロール > 運転モード > バイパス運転に切り替え**を選択します (選択可能な場合)。
 - b. 保守バイパスブレーカー (MBB) を閉じます。
 - c. システム絶縁ブレーカー (SIB) を開きます (存在する場合)。
 - d. ユニット出力ブレーカー (UOB) を開きます。
 - e. **コントロール > インバーター > インバーターオフ**を選択するか、コントローラーセクションの**インバーターOFF**ボタンを5秒間押します。
 - f. スタティックスイッチ入力ブレーカー (SSIB) がある場合は、それを開きます。
 - g. バッテリーブレーカーを開きます。
 - h. ユニット入力ブレーカー (UIB) を開きます。
 - i. 並列システムの他のUPSについても、手順d ~ hを繰り返します。
3. **内部保守ブレーカー (IMB) を使用するUPSシステム (MBBがないUPSシステム) の場合は、以下に示す一般的なシャットダウン手順を実行します。**

注記： 以下の手順は、あくまでも一般的なシャットダウン手順です。必ず、使用しているシステムの**ガイド付きシーケンス**の手順に従ってください。

 - a. **コントロール > 運転モード > バイパス運転に切り替え**を選択します (選択可能な場合)。
 - b. 内部保守ブレーカー (IMB) を閉じます。
 - c. バッテリーブレーカーを開きます。
 - d. 単純な1 + 1並列システムのもう1つのUPSについても、手順cを繰り返します。

Kirkキー付き単機UPSシステムをシャットダウンして保守バイパス運転に切り替える

注記： ブレーカーは対応するブレーカーインジケータランプが点灯しているときにのみ操作してください。

1. **コントロール > 運転モード > バイパス運転に切り替え**を選択します。
2. SKRUプッシュボタンを押したまま、キーAを回してSKRUインターロックから抜き取ります。
3. キーAを保守バイパスブレーカー（MBB）のインターロックに差し込んで回します。
4. 保守バイパスブレーカー（MBB）を閉じます。
5. ユニット出カブレーカー（UOB）を開きます。
6. キーBを回し、ユニット出カブレーカー（UOB）のインターロックから抜き取ります。
7. キーBをSKRUインターロックに差し込み、ロック位置まで回します。
8. **コントロール > インバーター > インバーターオフ**を選択します。
9. スタティックスイッチ入カブレーカー（SSIB）がある場合は、それを開きます。
10. バッテリーブレーカーを開きます。
11. ユニット入カブレーカー（UIB）を開きます。

UPSシステムの保守バイパス運転からの起動

注記： ブレーカーは対応するブレーカーインジケータランプが点灯しているときにのみ操作してください。

1. ユニット入力ブレーカー (UIB) が開いている場合は閉じます。
ディスプレイが点灯します。再起動シーケンスは約3分続きます。
2. **コントロール > ガイド付きシーケンス > UPSシステムのスタートアップ**を選択するか、**コントロール > ガイド付きシーケンス > 並列システム内の1台のUPSをスタートアップ**を選択し、ディスプレイに表示される手順に従います。
3. **外部保守バイパスブレーカー (MBB) が装備されたUPSシステムの場合は、以下に示す一般的な起動手順を実行します。**

注記： 以下の手順は、あくまでも一般的なシャットダウン手順です。必ず、使用しているシステムの**ガイド付きシーケンス**の手順に従ってください。

 - a. ユニット入力ブレーカー (UIB) が開いている場合は閉じます。
 - b. スタティックスイッチ入力ブレーカー (SSIB) を閉じます (存在する場合) 。
 - c. バッテリーブレーカーを閉じます。
 - d. **コントロール > 運転モード > バイパス運転に切り替え**を選択します (選択可能な場合) 。
 - e. ユニット出力ブレーカー (UOB) を閉じます。
 - f. 並列システムの他のUPSについても、手順a ~ eを繰り返します。
 - g. システム絶縁ブレーカー (SIB) を閉じます (存在する場合) 。
 - h. 保守バイパスブレーカー (MBB) を開きます。
 - i. **コントロール > インバーター > インバーターオン**を選択するか、コントローラーセクションのインバーターONボタンを5秒間押します。
4. **内部保守ブレーカー (IMB) を使用するUPSシステム (MBBがないUPSシステム) の場合は、以下に示す一般的な起動手順を実行します。**

注記： 以下の手順は、あくまでも一般的なシャットダウン手順です。必ず、使用しているシステムの**ガイド付きシーケンス**の手順に従ってください。

 - a. ユニット入力ブレーカー (UIB) が開いている場合は閉じます。
 - b. バッテリーブレーカーを閉じます。
 - c. 単純な1 + 1並列システムのもう1つのUPSについても、手順aとbを繰り返します。
 - d. 内部保守ブレーカー (IMB) を開きます。
 - e. **コントロール > インバーター > インバーターオン**を選択するか、コントローラーセクションのインバーターONボタンを5秒間押します。

Kirkキー付き単機UPSシステムの保守バイパスモードから運転を開始する

注記： ブレーカーは対応するブレーカーインジケータランプが点灯しているときにのみ操作してください。

1. ユニット入カブレーカー (UIB) を閉じます。
ディスプレイが点灯します。再起動シーケンス処理は約3分で終了します。
2. スタティックスイッチ入カブレーカー (SSIB) がある場合は、それを閉じます。
3. バッテリーブレーカーを閉じます。
4. **コントロール > 運転モード > バイパス運転に切り替え**を選択します。
5. SKRUプッシュボタンを押したまま、キーBを回してSKRUインターロックから抜き取ります。
6. キーBをユニット出カブレーカー (UOB) のインターロックに差し込んで回します。
7. ユニット出カブレーカー (UOB) を閉じます。
8. 保守バイパスブレーカー (MBB) を開きます。
9. キーAを回し、保守バイパスブレーカー (MBB) のインターロックから抜き取ります。
10. キーAをSKRUインターロックに差し込み、ロック位置まで回します。
11. **コントロール > インバーター > インバーターオン**を選択します。

設定したネットワーク管理インターフェイスへのアクセス

Network Management CardのWebインターフェイスは、以下の製品と互換性があります。
Windows®オペレーティングシステム

- Microsoft® Internet Explorer® (IE) 10.x以上 (互換表示を有効にする)。
- Microsoft Edgeの最新リリース

すべてのオペレーティングシステム

- Mozilla® Firefox®またはGoogle® Chrome®の最新リリース

以下の手順は、Webインターフェイスからネットワーク管理インターフェイスにアクセスする方法を示しています。有効になっている場合、以下のインターフェイスを使用することもできます。

- SSH
- SNMP
- FTP
- SFTP

注記： 製品のSecurity Deployment Guidelines and Security Handbook (セキュリティデプロイメントガイドラインおよびセキュリティハンドブック) を参照する場合は、www.schneider-electric.comにアクセスしてください。

Network Management Cardは、NTP接続をサポートして時刻を同期します。UPSシステム全体 (単機システムまたは並列システム) のうち一台のネットワーク管理インターフェイスのみが時刻を同期するように設定してください。

Webインターフェイスの使用時には、以下のプロトコルを使用できます。

- HTTPプロトコル (デフォルトで無効)。ユーザー名とPINによる認証が行われますが、暗号化は行われません。
- HTTPSプロトコル (デフォルトで有効)。Secure Socket Layer (SSL) によりさらに高い安全性を提供し、ユーザー名、PIN、伝送データを暗号化し、デジタル証明書によってNetwork Management Cardを認証します。

HTTP/HTTPSプロトコルの有効化, 41 ページを参照してください。

サイバーセキュリティのリスクを回避するために、デフォルトでは、SNMPプロトコルはNetwork Management Cardで無効になっています。Network Management Cardの監視機能を使用する場合、EcoStruxure IT Gatewayに接続する場合、またはStruxureWare Data Center Expertに接続する場合は、SNMPプロトコルを有効にする必要があります。以下のいずれかのSNMPプロトコルを有効にして使用することができます。

- SNMPv1。最小限のセキュリティを提供します。このプロトコルを使用する場合は、セキュリティを強化するためにアクセスコントロールのパラメーターをカスタマイズすることをお勧めします。
- SNMPv3。暗号化と認証の両方を介してセキュリティを強化します。セキュリティを強化するためにこのプロトコルを使用して、アクセスコントロールのパラメーターをカスタマイズすることをお勧めします。

SNMPプロトコルの有効化, 42 ページを参照してください。

HTTP/HTTPSプロトコルの有効化

1. ネットワーク管理インターフェイスにアクセスするときには、IPアドレス (またはDNS名が設定されている場合はDNS名) を指定します。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザー名とパスワードは**apc**です。最初のログイン時に、このパスワードを変更するように求められます。
3. HTTPまたはHTTPSプロトコルを有効または無効にするには、**Configuration (設定) > Network (ネットワーク) > Web > Access (アクセス)** の順に移動し、プロトコルを選択して、パラメーターを設定し、**Apply (適用)** をクリックします。

SNMPプロトコルの有効化

1. ネットワーク管理インターフェイスにアクセスするときには、IPアドレス（またはDNS名が設定されている場合はDNS名）を指定します。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザー名とパスワードは**apc**です。最初のログイン時に、このパスワードを変更するように求められます。
3. SNMPv1プロトコルを有効にするには
 - a. **Configuration（設定） > Network（ネットワーク） > SNMPv1 > Access（アクセス）**の順に移動し、**Enable（有効化）**を選択して、**Apply（適用）**をクリックします。
 - b. **Configuration（設定） > Network（ネットワーク） > SNMPv1 > Access Control（アクセスコントロール）**の順に移動して、パラメーターを設定します。
4. SNMPv3プロトコルを有効にするには
 - a. **Configuration（設定） > Network（ネットワーク） > SNMPv3 > Access（アクセス）**の順に移動し、**Enable（有効化）**を選択して、**Apply（適用）**をクリックします。
 - b. **Configuration（設定） > Network（ネットワーク） > SNMPv3 > Access Control（アクセスコントロール）**の順に移動して、パラメーターを設定します。
 - c. **Configuration（設定） > Network（ネットワーク） > SNMPv3 > User Profiles（ユーザープロフィール）**の順に移動して、パラメーターを設定します。

注記： Network Management Card 4がEcoStruxure IT GatewayまたはStruxureWare Data Center Expertと正しく通信するには、SNMPv1またはSNMPv3の設定がEcoStruxure IT GatewayまたはStruxureWare Data Center Expertの設定と一致している必要があります。

ログの表示

1. **ログ**をタップします。ログでは、最新の100件のイベントが上から新しい順に表示されます。
 - a. 次のページまたは前のページに移動するには、矢印のボタンをタップします。
 - b. 最初のページまたは最後のページに移動するには、二重矢印のボタンをタップします。
 - c. ログに保存されたすべてのイベントを削除するには、ゴミ箱のボタンをタップします。



システムステータス情報の表示

1. ステータスをタップします。
 - a. 入力、出力、バイパス、バッテリー、温度、または並列をタップして、ステータスを確認します。

入力

線間電圧 (線間)	現在の線間の入力電圧。
電流	現在の交流商用電源からの一相あたり入力電流 (アンペア (A) 単位)。
周波数	現在の入力周波数 (ヘルツ (Hz) 単位)。
相電圧 (各相と中性点間) ⁷	現在の各相と中性点間の入力電圧 (ボルト (V) 単位)。
合計電力	現在の三相合計有効電力入力 (kW単位)
電源	現在の各相の有効電力入力 (キロワット (kW) 単位)。有効電力は、電力の流れのうち、交流波形の1周期の平均をとった値です。この値は、一方向への正味の電力転送量です。
ピーク電流	アンペア (A) 単位の入力ピーク電流。
力率	皮相電力に対する有効電力の割合。
最大実効値電流	現在の最大実効値電流。
電力量	設置してからの合計消費電力。

出力

線間電圧 (線間)	インバーターでの線間の出力電圧 (ボルト (V) 単位)。
電流	現在の各相の出力電流 (アンペア (A) 単位)。
周波数	現在の出力周波数 (ヘルツ (Hz) 単位)。
相電圧 (各相と中性点間) ⁷	インバーターでの各相と中性点間の出力電圧 (ボルト (V) 単位)。
負荷	現在全相で使用されているUPS容量の割合 (パーセント)。最も大きい相負荷の負荷パーセントが表示されます。
中性点電流 ⁷	現在の出力中性点電流 (アンペア (A) 単位)。
合計電力	現在の三相合計有効電力出力 (キロワット (kW) 単位)。
電源	現在の各相の有効電力出力 (キロワット (kW) 単位)。有効電力は、電力の流れのうち、交流波形の1周期の平均をとった値です。この値は、一方向への正味の電力転送量です。
ピーク電流	アンペア (A) 単位の出力ピーク電流
力率	現在の各相の出力力率。力率は、皮相電力に対する有効電力の割合です。
最大実効値電流	現在の最大実効値電流。
電力量	設置してからの合計消費電力。
波高率	現在の各相の出力波高率。出力波高率は、出力電流の実効値に対するピーク値の割合です。

バイパス

線間電圧 (線間) ⁷	現在の線間のバイパス電圧 (V単位)。
電流	現在の各相のバイパス電流 (アンペア (A) 単位)。

7. 中性点接続のあるシステムにのみ適用されます。

バイパス (続き)

周波数	現在のバイパス周波数 (Hz)。
相電圧 (各相と中性点間)	現在の各相と中性点間のバイパス電圧 (V単位)。
合計電力	現在の三相合計有効バイパス電力 (キロワット (kW) 単位)。
電源	現在の各相の有効バイパス電力 (キロワット (kW) 単位)。有効電力は電圧と電流の瞬時値積の時間平均です。
ピーク電流	アンペア (A) 単位のバイパスピーク電流
力率	現在の各相のバイパス力率。力率は、皮相電力に対する有効電力の割合です。
最大実効値電流	現在の最大実効値電流。

バッテリー

測定	現在バッテリーから取り出している直流電力 (キロワット (kW) 単位)。
	現在のバッテリー電圧 (VDC)。
	現在のバッテリー電流 (アンペア (A) 単位)。正電流は、バッテリーが充電中であることを示し、負電流は、バッテリーが放電中であることを示します。
	接続した温度センサーのバッテリー温度 (摂氏または華氏)。
バッテリー	バッテリーが低電圧シャットダウンレベルに達するまでの時間。バッテリーの充電レベルもフル充電容量に対するパーセントとして表示されます。
	現在のバッテリー充電 (Ah)。
設定	バッテリータイプを表示します。モジュール式バッテリーの場合は、このフィールドの 詳細 ボタンをタップして、モジュール式バッテリーの詳細を表示します。モジュール式バッテリーのステータスの表示、46 ページを参照してください。
ステータス	充電器の全体的な状態。
モード	充電器の運転モード (オフ、フロート、ブースト、均等、循環、テスト)。
充電容量	UPSの公称定格電力の最大充電容量 (%)

温度

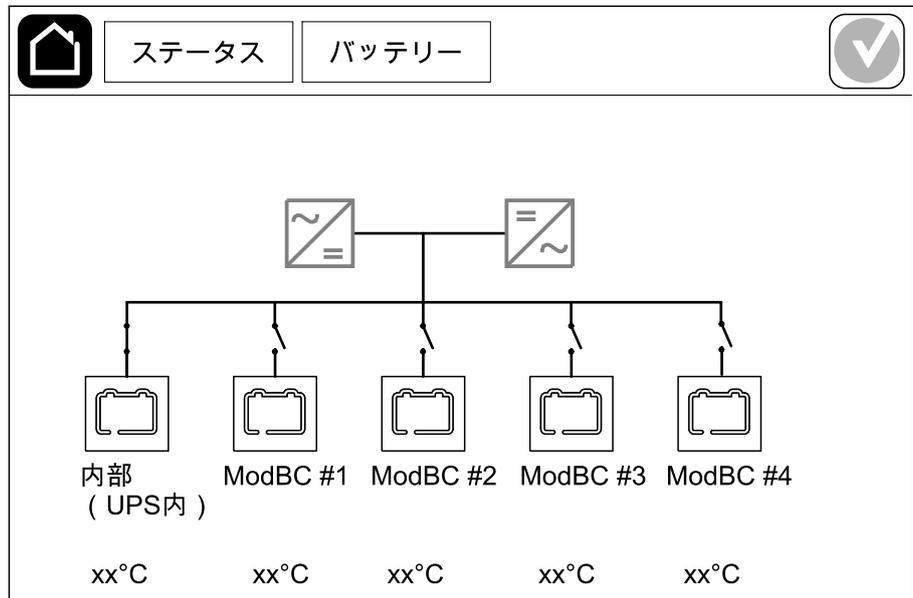
周囲温度	周囲温度 (摂氏または華氏)。
バッテリー温度	接続されたバッテリー温度センサーのバッテリー温度 (摂氏または華氏)。
温度	接続されたオプションの温度センサー (AP9335TとAP9335TH) の周囲温度 (摂氏または華氏)。名前は、ネットワーク管理インターフェイスで設定します。
湿度	接続されたオプションの湿度センサー (AP9335TH) で測定された湿度 (パーセントで表示)。名前は、ネットワーク管理インターフェイスで設定します。

並列

入力電流	現在の入力電源からの一相あたり入力電流 (アンペア (A) 単位)。
バイパス電流	現在のバイパス電源からの一相あたりバイパス電流 (アンペア (A) 単位)。
合計出力電力	並列UPSシステムの合計出力電力。並列システムの合計負荷率と合計出力電力をそれぞれkWおよびkVA単位で表示します。
出力電流	現在の各相の出力電流 (アンペア (A) 単位)。
冗長UPSの数	存在する冗長UPSの数。
冗長設定	構成済みの冗長設定。

モジュール式バッテリーのステータスの表示

1. **ステータス > バッテリー > 詳細**を選択します。モジュール式バッテリーソリューションの概要が表示されます。各モジュール式バッテリーキャビネットのバッテリーブレイクステータスと、UPS内のモジュール式バッテリーのバッテリーブレイクステータスが表示されます（内蔵バッテリーのUPSモデルの場合のみ）。バッテリー記号が赤で表示されている場合は、モジュール式バッテリーキャビネットまたはUPSのモジュール式バッテリーでアラームが発生しています。以下の画面には、モジュール式バッテリーキャビネットまたはUPSで測定された最も温度の高いバッテリーstringの温度が表示されます。



2. **内部 (UPS内)** というバッテリー記号（内蔵バッテリーのUPSモデルの場合にのみ表示されます）をタップしてUPSのモジュール式バッテリーの情報を表示するか、**ModBC # x** というバッテリー記号をタップして、モジュール式バッテリーキャビネットxの情報を表示します（「x」は、バッテリーキャビネットの番号）。この操作により、搭載されているバッテリーモジュールの数、アラームの有無、各バッテリーstringの温度、バッテリーモジュールのタイプなど、各バッテリーstringの詳細情報を表示できるようになります。

ModBC #x	GVSXXXXXX	Temperature	Status
#6	X X X X	xx°C	xxxxxxx
#5	X X X X	xx°C	xxxxxxx
#4	X X X X	xx°C	xxxxxxx
#3	X X X X	xx°C	xxxxxxx
#2	X X X X	xx°C	xxxxxxx
#1	X X X X	xx°C	xxxxxxx

テスト

UPSシステムでは、システムが正しく動作することを保証するために以下のテストを実行することができます。

- **ブザー**
- **ステータスLED**
- **ブレーカーランプ**
- **ランタイム較正**
- **バッテリー**

ホーム画面のメニューボタンをタップし、**保守**を選択した後、**ブザー**、**ステータスLED**、**ブレーカーランプ**のいずれかを選択して、これらの機能のテストを開始します。これらのテストの詳細と要件については、ランタイム較正テストの開始, 47 ページおよびバッテリーテストの開始, 48 ページを参照してください。

ランタイム較正テストの開始

この機能は、残りのバッテリーランタイムの概算値を較正するために使用されます。このテストでは、UPSはバッテリー運転に切り替わり、バッテリーは低直流警告レベルまで放電します。経過時間と負荷に関する情報に基づいてバッテリー容量が計算され、概算のランタイムが較正されます。

Schneider Electricでは、バッテリーを交換したとき、またはバッテリーソリューションに変更が行われたときは、起動時にランタイム較正テストを実行することを推奨します。

注記

機器損傷の危険性

- ランタイムの較正テスト中はバッテリーが非常に低容量に減少するため、入力に停電が発生した場合には負荷をサポートすることはできません。
- バッテリーの較正を行うと、バッテリーの電力が低直流警告レベルになるまで放電するため、較正後は、バッテリーをフル充電するまで、バッテリーの稼働時間が短くなります。
- バッテリーのテストや較正を繰り返し実行すると、バッテリーの耐用年数に影響を及ぼすことがあります。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

条件：

- 重大アラームがないこと。
- バッテリーは必ず100%まで充電していること。
- 負荷率は少なくとも10%あり、テスト中に変動が20%を超えないこと。例：テストの開始時に負荷率が30%の場合、テスト中に負荷率が24%を下回るか36%を上回ると、テストは中止されます。
- バイパス電源が使用できるようになっていること。
- 運転モードは通常運転モード、eConversion運転モード、またはECOモード運転になっていること。
- システム運転モードはインバーターモード、eConversion運転モード、またはECOモード運転になっていること。

1. ホーム画面のメニューボタンをタップします。
2. **保守 > ランタイム較正 > 較正を開始**を選択します。
3. 確認画面で**OK**をタップします。

ランタイム較正テストの停止

1. ホーム画面のメニューボタンをタップします。
2. **保守 > ランタイム較正 > 較正を停止**を選択します。
3. 確認画面で**OK**をタップします。

バッテリーテストの開始

条件：

- バッテリーブレーカーが閉じられていること。
- 重大アラームがないこと。
- バイパス電源が使用できるようになっていること。
- スタティックバイパス運転が使用できるようになっていること。
- バッテリーが50%以上充電されていること。
- 利用できるランタイムが4分以上あること。
- 運転モードは通常運転モード、eConversion運転モード、またはECOモード運転になっていること。
- システム運転モードはインバーターモード、eConversion運転モード、またはECOモード運転になっていること。

この機能は、バッテリーに対してヒューズ溶断点検、消耗バッテリー検出などの複数のテストを実行します。このテストはバッテリーを消耗させ、全ランタイム容量の約10%を使用します。
例：ランタイムが10分あれば、テストは1分間実行されます。バッテリーテストは、さまざまな時間間隔（1週間に一度から1年に一度まで）で自動的に実行されるようにスケジュールを設定することができます。

1. **保守 > バッテリー > テストを開始**を選択します。
2. 確認画面で**OK**をタップします。

バッテリーテストの停止

1. ホーム画面のメニューボタンをタップします。
2. **保守 > バッテリー > テストを停止**を選択します。
3. 確認画面で**OK**をタップします。

保守

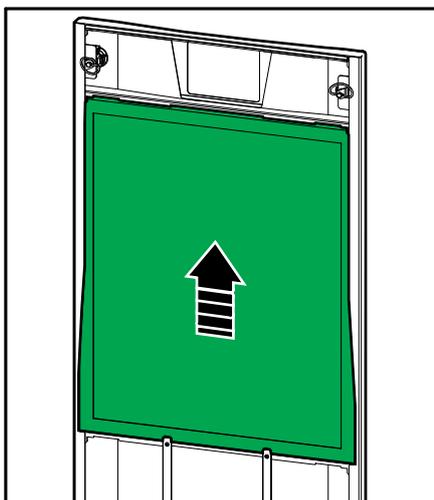
温度センサー/湿度センサーの接続 (オプション)

温度センサー/湿度センサー (AP9335TまたはAP9335TH) を、ネットワーク管理カードに接続することができます。

1. 温度/湿度センサーを、ネットワーク管理カードのユニバーサルI/Oポートに接続します。
2. ネットワーク管理インターフェイスを使用して、温度センサー/湿度センサーの設定を行います (設定したネットワーク管理インターフェイスへのアクセス, 41 ページを参照)。
3. **ステータス > 温度** をタップして、温度センサー/湿度センサーの測定値を表示します。

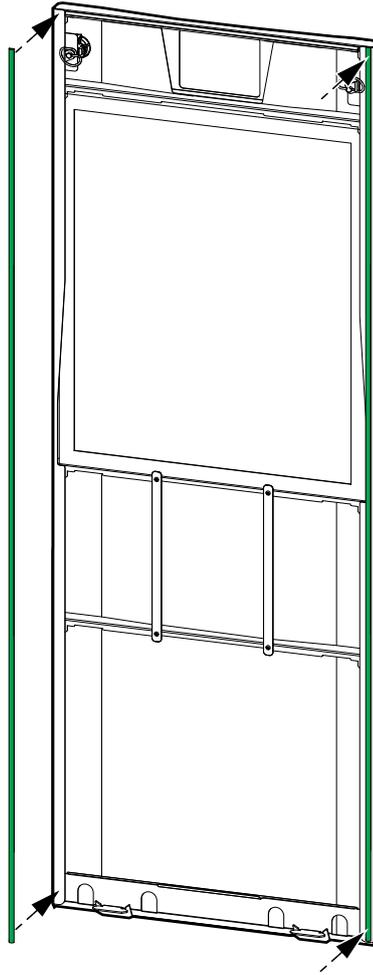
ダストフィルターの交換 (GVSOPT001とGVSOPT015)

1. UPSの前面パネルを開けます。
2. 底部にある2つの金属グリップが緩むまでダストフィルターを上押し上げて、取り外します。



3. 新しいダストフィルターの側面を持ってドアフレームに差し込み、2つの金属グリップが緩むまで上に押し上げて挿入します。

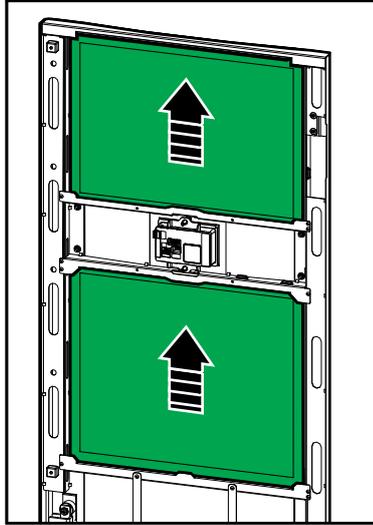
4. 付属の2つのゴム製のガスケットを、両側のドアのそれぞれの端にできるだけ近い位置に取り付けます。ダストフィルターの次の交換時に、必要に応じてゴム製のガスケットを交換してください。



5. UPSの前面パネルを閉じます。
6. ダストフィルターのカウンターを再起動します。詳しくは、ダストフィルターリマインダーの設定、32ページを参照してください。

ダストフィルターの交換 (GVSOPT014)

1. フロントドアを開けます。
2. ドアから2つのダストフィルターを取り外します。



3. ドアに2つの新しいダストフィルターを取り付けます。
4. フロントドアを閉じます。
5. ダストフィルターのカウンターを再起動します。詳しくは、ダストフィルターリマインダーの設定、32 ページを参照してください。

モジュール式バッテリーstringの交換と取り付け

▲▲ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険性

バッテリーには、感電やショート等の危険性があります。バッテリーを取り扱う場合は、以下の点に注意する必要があります。

- バッテリー点検は、バッテリーや必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者以外には行わないでください。資格を持っていない人をバッテリーに近づけないようにしてください。
- 爆発の危険があるため、バッテリーを焼却処分しないでください。
- バッテリーを解体または改造したり、本来とは異なる方法で使用したりしないでください。漏れ出した電解液は肌や目に害を与えるため、注意してください。毒性を持っている場合もあります。
- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリーの交換や取り付けを行う前に、必ずバッテリーブレーカー（BB）の位置を「開（OFF）」にしてください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

▲ 警告

機器損傷の危険性

- バッテリーモジュールの交換や取り付けを行う場合は、UPSシステム全体で必ず同じタイプのバッテリーモジュール（同じ商用参照名のバッテリーモジュール）を使用してください。
- バッテリーモジュールの交換や取り付けを行う場合は、必ずバッテリーstring全体（4つのバッテリーモジュール）の交換または取り付けを行ってください。
- システムが通電可能な状態になってから、バッテリーモジュールをシステムに取り付けてください。バッテリーの取り付けから72時間（3日間）以内に、UPSシステムの電源を入れてください。
- このUPSシステムを長期間通電せずに保管する場合、1カ月に1度以上の頻度で24時間通電することをお勧めします。こうすることにより、システムに搭載されているバッテリーモジュールが充電されるため、深放電による重大な損傷を防ぐことができます。
- バッテリーモジュールは、温度が-15～40℃（5～104°F）の環境で保管してください。
- バッテリーモジュールを保管する場合は、正規の保護パッケージを使用してください。
- -15～25℃（5～77°F）の温度環境でバッテリーモジュールを保管する場合は、深放電による損傷を防ぐため、6か月ごとに充電を行ってください。25℃（77°F）を超える環境でバッテリーモジュールを保管する場合は、それよりも短い間隔で充電を行ってください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

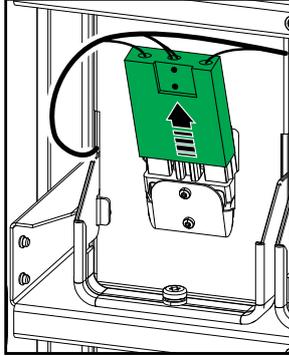
注記

負荷停電の危険性

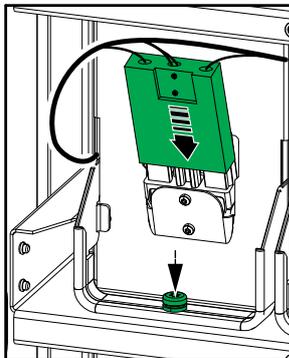
キャビネットのバッテリーブレーカーの位置が「開（OFF）」になっている場合、キャビネットからバッテリーのバックアップを行うことはできません。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

1. バッテリーモジュールの取り付け位置または交換位置にあるUPSまたはモジュール式バッテリーキャビネット（あるいはその両方）で、バッテリーブレーカー（BB）の位置を「開（OFF）」にします。
2. UPSまたはモジュール式バッテリーキャビネット（あるいはその両方）から、バッテリーカバーを取り外します。
3. 以下の手順で、バッテリーモジュールを取り外します。
 - a. バッテリーモジュール前部のバッテリー端子を取り外します。



- b. バッテリーモジュールのハンドルのネジを外し、ハンドルを上げます。
 - c. バッテリーモジュールをスロットから慎重に引き出します。その際、必ずバッテリーSTRING全体（4つのバッテリーモジュール）を引き出してください。
4. 以下の手順で、バッテリーモジュールを取り付けます。
 - a. バッテリーモジュールをスロット内に押し込みます。その際、下から順にバッテリーモジュールを取り付けてください。必ず、バッテリーSTRING全体（4つのバッテリーモジュール）を取り付けてください。
 - b. バッテリーモジュールのハンドルを下げ、付属のネジを使用してハンドルをラックに固定します。
 - c. バッテリーモジュール前部にバッテリー端子を接続します。



5. モジュール式バッテリーのステータスの表示、46 ページの説明に従い、バッテリーモジュールが正しく取り付けられているかどうかを確認します。
6. UPSまたはモジュール式バッテリーキャビネット（あるいはその両方）のバッテリーカバーを元に戻します。
7. UPSまたはモジュール式バッテリーキャビネット（あるいはその両方）で、バッテリーブレーカーの位置を「閉（ON）」にします。
8. **UPSシステムのすべてのバッテリーモジュールを交換する場合のみ：保守 > バッテリーの交換**を選択し、すべてのバッテリーデータ（バッテリー稼働時間の低下要素、バッテリーの耐用期間、バッテリーの統計情報など）をリセットします。

Live Swap : パワーモジュールの追加、取り外し、交換

注記： このUPSは、あらゆる運転モードでのパワーモジュールの挿入と取り外しができるように設計および評価されています：**Live Swap**。このページには、**Live Swap**の実行方法に関するメーカーからの指示が記載されています。

注記： 製品の使用説明書の指示どおりに設置および初回起動したときの入射エネルギーは、1.2 cal/cm²未満です。入射エネルギーは、キャビネットの前面から200 mm (8 in) の位置で測定します。

免責事項：

- 電気機器は、適切な資格を有し、訓練を受け、経験を積んだ専門の作業員（ライセンス、認可、認定など必要な許可を取得）が設置、操作、修理、保守、交換または同等の作業を行うものとします。すべての作業は、危険を生じさせないような方法で、適切な個人保護具（PPE）を使用して行う必要があります。
- ユーザーは、本機器を使用して作業を行う場合、または電気機器の近くで作業を行う場合、メーカーからの指示およびユーザーマニュアル、ならびに適用されるすべての法律、規則、基準、および指針を必ず順守してください。
- Schneider Electricまたはその関連会社は、本機器の不適切な使用または上記の要件のいずれかを順守しなかったことにより生じる請求、費用、損失、損害、死亡、あるいは負傷に対し、一切責任を負わないものとします。

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- UPSに**Live Swap**ラベルが付いていることを確認します。
- UPSに**Live Swap**ラベルが付いていない場合は、Schneider Electricに連絡してパワーモジュールを交換してください。
- 適切な個人保護具（PPE）を使用し、安全な電気作業方法に従って作業してください。
- この手順の間、作業員はUPSの後ろ側に立たないようにしてください。
- パワーモジュールの挿入または取り外しを行う場合、電気作業や必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者以外は行わないでください。資格を持っていない人を近づけないようにしてください。
- この手順では、前面パネルを開く必要があります。この手順の間、他のすべてのドアとカバーは閉じた状態で固定されている必要があります。
- この手順を実行する前に、UPSが動かないように固定されていることを確認してください。
- メンテナンスまたは設置が適切でない証拠が観察された場合、この手順を続行しないでください。
- いかなる形であっても、誤って落下させた、あるいは破損、浸水、汚染、ウイルス感染、または損傷したパワーモジュールは、取り付けないでください。
- 操作状態が不明なパワーモジュールは取り付けないでください。
- システムが通電状態のときは、キャビネットの前面から200 mm (8 in) 以上の間隔を保つようにしてください。
- 空のパワーモジュールスロットの内部で工具を使用しないでください。
- 空のパワーモジュールスロットの内部に手を入れないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 警告

機器損傷の危険性

- パワーモジュールは、温度が-15 ~ 40 °C (5 ~ 104 °F)、湿度が10 ~ 80% (結露なきこと) の環境で保管してください。
- パワーモジュールを保管する場合は、正規の保護パッケージを使用してください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

▲ 注意**重量物**

パワーモジュールは重量物であるため、作業員2人で持ち上げる必要があります。

- 20 kWのパワーモジュールの重量は25 kg (55 lbs) です。
- 50 kWのパワーモジュールの重量は38 kg (84 lbs) です。

上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

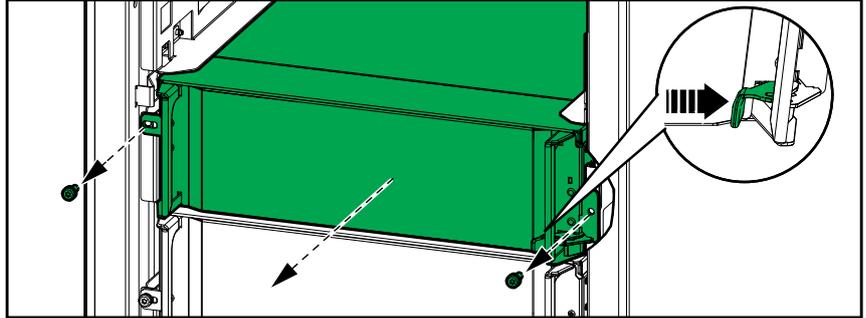
注記：

- UPSからパワーモジュールを取り外す前に、残りのパワーモジュールで負荷をサポートできることを確認してください。
- UPSに取り付けられたパワーモジュールの数を増やすまたは減らすことができるのは、拡張可能なUPSモジュール (**GVSUPS50K150HS**、**GVSUPS50K150GS**、または**GVSUPS25K75FS**) のみです。UPS内で追加のパワーモジュールを取り付ける前に、電力定格の増加に合わせて設置寸法が正しく調整されていることを確認してください。設置寸法が適切でないと、設置が過負荷になる恐れがあります。上流保護と下流保護、ケーブルサイズなどの要件については、設置マニュアルを参照してください。
- 拡張不可のすべてのUPSモデルでは、すでに取り付けられているパワーモジュールの交換のみ行うことができます。

注記：ここでは、UPSに水平方向に取り付けられているパワーモジュールの手順について説明します。UPSに垂直方向に取り付けられているパワーモジュールも同じ手順になります。

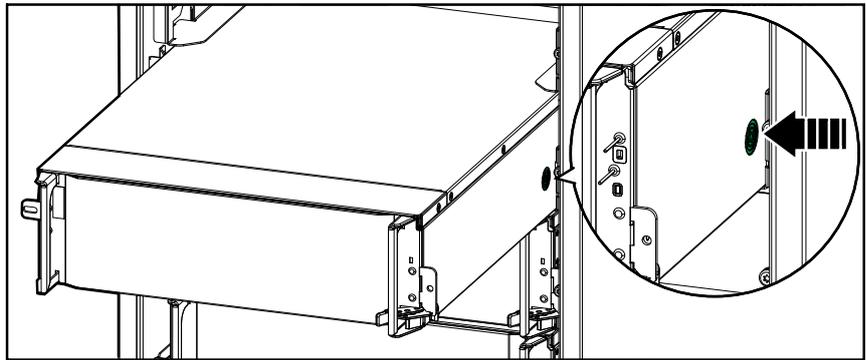
1. パワーモジュールを取り外す方法

- a. ネジを取り外し、アンロックスイッチを押します。

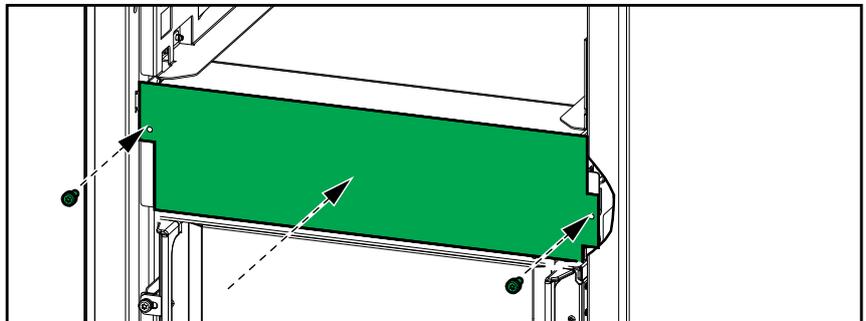


- b. パワーモジュールを半分まで引き出します。バッテリーユニットの落下を防ぐためのロック機構が付いています。

- c. パワーモジュールの両側面にあるリリースボタンを押してロックを解除し、パワーモジュールを取り外します。

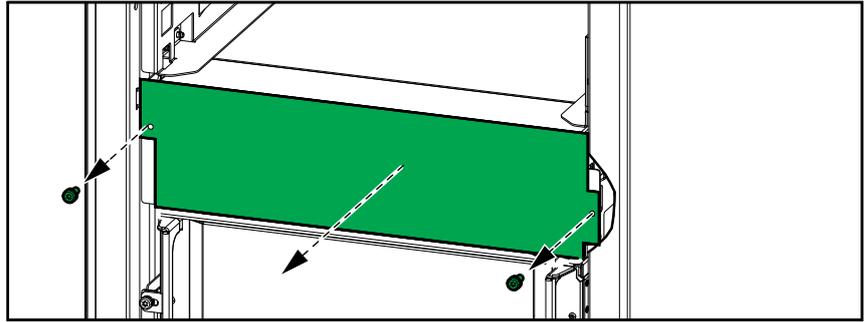


- d. **拡張可能なUPSモデルの場合のみ**：交換用のパワーモジュールを取り付けない場合：空のパワーモジュールスロットの前面にフィルタープレートを取り付けます。



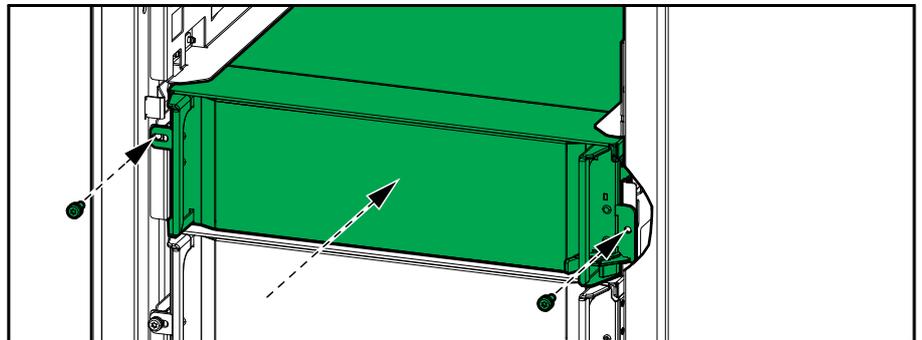
2. パワーモジュールを取り付ける方法

- a. **拡張可能なUPSモデルの場合のみ**：追加のパワーモジュールを取り付けるには、空のパワーモジュールスロットからフィラープレートを取り外します。予備として、フィラープレートを保管してください。



- b. パワーモジュールをスロットに押し込みます。パワーモジュールが正しく挿入されると、イネーブルメカニズムがラッチします。

- c. パワーモジュールの側面に付属のネジを取り付けます。



パワーモジュールはセルフテストを実行し、システムに応じて自動的に再設定された後オンラインに移行します。

⚡⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべてのパワーモジュールスロットには、パワーモジュールまたはフィラープレートのいずれかが取り付けられている必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

交換部品が必要であるかを判断する方法

交換部品が必要であるかどうかについては、Schneider Electricカスタマーサポートにお問い合わせください。担当者が速やかに対処できるよう下記の手順に従ってください。

1. アラーム状態にある場合は、アラームリストをスクロールして情報を書き留め、担当者にお知らせください。
2. Schneider Electricにお電話いただく前に、ユニットのシリアル番号をメモしておいてください。
3. 可能であれば、担当者とのやりとりの際に情報を補足できるよう、ディスプレイを確認できる場所からご連絡ください。
4. 問題を詳細に説明できるよう、あらかじめご準備ください。カスタマーサポートは、可能な場合は電話で問題解決をサポートします。それ以外の場合は、ご返却用の承認番号（RMA：Return Material Authorization）をお知らせします。モジュールをSchneider Electricにご返却される場合は、このRMA番号をパッケージの外側に明確にご記載ください。
5. ユニットが保証期間内にあり、かつSchneider Electricによって起動されたものであれば、無償にて修理または交換いたします。保証期間が切れている場合には有償となります。
6. Schneider Electricサービス契約の保証範囲内である場合は、保証契約に記載されている情報を必要に応じて担当者にお伝えください。

シリアル番号を確認する方法

1. ホーム画面のメニューボタンをタップします。
2. **概要**をタップします。
3. UPSキャビネットのシリアル番号をメモし、カスタマーサポート用に控えておいてください。

注記： ディスプレイが使用できない場合は、フロントパネルを取り外して、「SERIAL:」の下の名札ラベルに記載されているUPSのシリアル番号を確認してください。

UPSの名札ラベルの例

		xx kW/kVA			xx kW/kVA			
		200 V	208 V	220 V	380 V	400 V	415 V	480 V
Input:		xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A
Bypass:		xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A
Output:		xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A
Neutral:		xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A	xxx A
3ph + N + PE / 3ph + PE 50/60 Hz								
Model installed:		_____ kW/kVA _____ V.		MODEL:		Barcode label		
Name of installer:		_____		SERIAL:				
Note: Refer to the type specifications label or the installation manual for nominal currents for all kW/kVA sizes.								

4. 矢印をタップして次のページに移動し、ディスプレイおよびネットワーク管理カードのシリアル番号をメモし、カスタマーサポート用に控えておいてください。

Schneider Electricへの部品の返却方法

動作しない部品をSchneider Electricにご返却される場合は、Schneider Electricカスタマーサポートにご連絡の上、RMA番号をご取得ください。

部品を元の梱包材に入れて、送料、保険料をご負担の上でご発送ください。カスタマーサポートの担当者が発送先住所をお知らせします。元の梱包材がない場合は、新規のセットを入手する方法を担当者にお尋ねください。

- 輸送中の破損を避けるために、部品は適切に梱包してください。部品を箱に詰める際に、発泡スチロールのビーズやその他の緩衝材は使用しないでください。輸送中に部品が揺れて、破損する恐れがあります。
- 梱包物には、ご氏名、RMA番号、住所、電話番号を記載したレター、レシートのコピー、問題の説明、支払を証明するもの（必要な場合）を同梱してください。

注記： 輸送中の破損には、保証が適用されません。

トラブルシューティング

UPS運転モードごとに点灯するステータスLED

ディスプレイが動作不能になった場合は、前面パネルの背面にあるステータスLEDを使用してUPSの動作モードを確認できます。

- LEDが緑色の場合は、機能がアクティブであることを意味します。
- LEDがオフの場合は、機能が無効であることを意味します。
- LEDが赤色の場合は、機能が動作不能またはアラーム状態にあることを意味します。

ダブルコンバージョン (通常運転)	
バッテリー運転 (バイパス運転がサポートされている2系統主電源システム)	
バッテリー運転 (1系統主電源システム、またはバイパス運転がサポートされていない2系統主電源システム)	
要求スタティックバイパス運転 強制スタティックバイパス運転 ECOモード運転	
eConversion運転モード	
オフモード	
スタティックバイパススタンバイ運転モード	

モジュール式バッテリーキャビネットのステータスLED

バッテリーstringのステータスLEDを確認するには、モジュール式バッテリーキャビネットのフロントドアまたはフロントパネルを取り外します。

- LEDが緑色で点灯している場合、バッテリーstringは正常な状態になっています。
- LEDが点灯していない場合、モジュール式バッテリーキャビネットに電力が供給されていないか、バッテリーstringにバッテリーモジュールが取り付けられていません。
- LEDが赤で点灯している場合、バッテリーstringの4つのバッテリーモジュールのうち、1つ以上のバッテリーモジュールが接続されていません。
- LEDが赤で点滅している場合、バッテリーstringでアラームが発生しています。

アラームの詳細については、モジュール式バッテリーのステータスの表示、46 ページとログの表示、43 ページを参照してください。バッテリーstringの交換方法については、モジュール式バッテリーstringの交換と取り付け、52 ページを参照してください。

アラームメッセージ

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
Activation code is not valid for UPS (アクティベーションコードがUPSには無効)	重大	UPSのアクティベーションコードが正しくありません。	正しいアクティベーションコードを入力してください。
Activation code missing (アクティベーションコードがありません)	重大	アクティベーションコードが入力されていません。	アクティベーションコードを入力してください。
Air Filter technical check recommended (ダストフィルターの技術点検を推奨)	情報	予防措置として、ダストフィルターを点検することをお勧めします。	必要に応じて、ダストフィルターを交換してください。
Ambient temperature high (周囲温度が高くなっています)	警告	周囲温度が高くなっています。	
Ambient temperature out of tolerance (周囲温度が許容範囲外)	警告	周囲温度が許容範囲外になっています。	
Available UPS power lower than configured UPS power rating (利用可能なUPS電力が構成されたUPS電力定格を下回りました)	警告	インバーターからの電力が、設定されているUPS電力定格よりも低くなっています。	
Batteries are discharging (バッテリー放電中)	警告	UPSが入力から取り出すことができるより多くの電力が負荷によって消費されています。このため、UPSはバッテリーから電力供給を受けています。	
Battery breaker BB1 open (バッテリーブレーカーBB1開)	警告	バッテリーブレーカーBB1が開いています。	
Battery breaker BB2 open (バッテリーブレーカーBB2開)	警告	バッテリーブレーカーBB2が開いています。	
Battery capacity is below minimum acceptable level (バッテリー容量が最低許容値未満です)	警告	バッテリー容量がUPS定格電力に基づいた最小許容値を下回っています。バッテリーが損傷するおそれがあります。	バッテリーの設定を変更するか、容量の大きいバッテリーを追加してください。
Battery condition is poor (バッテリー状態が貧弱)	警告	バッテリー容量が50%を下回っています。	バッテリーを交換してください。
Battery condition is weak (バッテリー状態が低下)	警告	バッテリー容量が50% ~ 75%になっています。	
Battery configuration is incorrect (バッテリー構成に誤り)	警告	一連のバッテリーの数、バッテリー内のセルの数、公称セル電圧の設定が、UPSのバッテリー電圧範囲と一致していません。	バッテリーの設定を確認し、正しい設定に修正してください。
Battery float charge current exceeds expected value (バッテリーフロート充電電流が予想値を超えています)	警告	バッテリーのフロート充電電流が適切な値を超えています。熱暴走を回避するため、フロート充電電流が制限されました。	バッテリーを確認してください。
Battery is below minimum acceptable runtime (バッテリーが最小許容ランタイムを下回っています)	警告	バッテリーランタイムが設定された最小許容値を下回っています。	
Battery is not working correctly (バッテリー動作異常)	重大	バッテリーが正常に動作していません。	Schneider Electricに連絡してください。
Battery module temperature out of tolerance (バッテリーモジュール温度が許容範囲外)	警告	バッテリーモジュールの温度が許容範囲外になっています。	Schneider Electricに連絡してください。
Battery module temperature sensor not working correctly (バッテリーモジュール温度センサーが正しく機能していません)	警告	バッテリーモジュールの温度センサーが正しく機能していません。	Schneider Electricに連絡してください。

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
Battery module type unknown (バッテリーモジュールタイプ不明)	警告	バッテリーモジュールタイプが不明です。	Schneider Electricに連絡してください。
Battery room ventilation inoperable (バッテリー室換気が稼働不能)	警告	入力接点が、バッテリー室の換気装置が正常に機能していないことを示しています。	
Battery voltage does not match battery configuration (バッテリー電圧はバッテリー構成と一致していません)	重大	バッテリー電圧がバッテリーの設定と一致していません。	バッテリーの設定を確認し、正しい設定に修正してください。
BMC communication lost - connected (BMC通信喪失 - 接続されました)	警告	バッテリーモニターコントローラー (BMC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。バッテリーモニターコントローラー (BMC) は接続されています。	Schneider Electricに連絡してください。
BMC communication lost - disconnected (BMC通信喪失 - 切断されました)	警告	バッテリーモニターコントローラー (BMC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。バッテリーモニターコントローラー (BMC) は切断されています。	Schneider Electricに連絡してください。
BMC communication not authenticated (BMC通信は認証されていません)	警告	バッテリーモニターコントローラー (BMC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが認証されていません。	Schneider Electricに連絡してください。
Bonding between neutral and ground missing (中性点と接地ボンディングなし)	警告	中性線と接地線の間にボンディングがありません。	
Breaker IMB closed (ブレーカーIMB閉)	警告	内部保守ブレーカー (IMB) が閉じています。負荷に対して、保護されていないバイパス電源が供給されています。	
Breaker MBB closed (ブレーカーMBB閉)	警告	保守バイパスブレーカー (MBB) が閉じています。負荷に対して、保護されていないバイパス電源が供給されています。	
Breaker RIMB closed (ブレーカーRIMB閉)	警告	リモート内部保守バイパスブレーカー (RIMB) が閉じています。負荷に対して、保護されていないバイパス電源が供給されています。	
Breaker SIB open (ブレーカーSIB開)	警告	システム絶縁ブレーカー (SIB) が開いているため、負荷に対して電力を供給できません。	
Breaker SSIB open (ブレーカーSSIB開)	警告	スタティックスイッチ入力ブレーカー (SSIB) が開いているため、スタティックバイパス運転を実行できません。	
Breaker UIB open (ブレーカーUIB開)	警告	ユニット入力ブレーカー (UIB) が開いているため、通常のUPS運転を実行できません。	
Breaker UOB open (ブレーカーUOB開)	警告	ユニット出力ブレーカー (UOB) が開いているため、UPSから負荷に対して電力を供給できません。	
Bypass frequency out of tolerance (バイパス周波数が許容範囲外)	警告	バイパス周波数が許容範囲外になっています。	バイパス周波数とバイパス周波数の設定を確認してください。
Bypass phase missing (バイパス欠相)	警告	バイパスに欠相があります。	バイパスを確認してください。Schneider Electricに連絡してください。
Bypass phase sequence incorrect (バイパス相順序に誤り)	警告	バイパスの相回転が正しくありません。	バイパスを確認してください。Schneider Electricに連絡してください。
Bypass voltage out of tolerance (バイパス電圧が許容範囲外)	警告	バイパス電圧が許容範囲外になっているため、UPSを要求バイパス運転モードに切り替えることができません。	

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
Charge power is reduced (充電電力が減少)	情報	バッテリーの充電電力が低下していません。	この機能の入力がアクティブになっているか、入力電流が最大制限値を超えています。
Charger shutdown due to high battery temperature (高バッテリー温度のため充電器が停止しました)	警告	バッテリー温度が高いため、充電器がシャットダウンされました。	バッテリーの温度を確認してください。
Configured UPS power rating exceeds frame power rating (構成されたUPS電力定格がフレーム電力定格を超えています)	重大	設定されたUPS電力定格が、フレームの電力定格を超えています。	Schneider Electricに連絡してください。
Confirm redundancy lost and/or transfer to forced static bypass (冗長性の喪失や強制スタティックバイパスへの切り替えを確認)	警告	インバーターOFFボタンが押されました。インバーターがオフになると、冗長性が失われるか、システムが強制スタティックバイパス運転に切り替わります(あるいはその両方)。	ディスプレイを使用して、インバーターのオフを確定するかキャンセルしてください。
Controller box disabled (コントローラーボックス無効)	警告	ユーザーにより、コントローラーボックスが無効になっています。	
Display communication lost - connected (ディスプレイ通信喪失 - 接続されました)	警告	ディスプレイとシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。ディスプレイは接続されています。	Schneider Electricに連絡してください。
Display communication lost - connected (ディスプレイ通信喪失 - 切断されました)	警告	ディスプレイとシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。ディスプレイは切断されています。	Schneider Electricに連絡してください。
Display communication not authenticated (ディスプレイ通信は認証されていません)	警告	ディスプレイとシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが認証されていません。	Schneider Electricに連絡してください。
EPO switch activated (EPOスイッチ作動)	重大	非常停止 (EPO) スイッチがアクティブな状態になっています。	非常停止 (EPO) スイッチを無効にしてください。
External battery monitoring detected fault (外部バッテリー監視で障害が検出されました)	警告	入力接点が、外部バッテリーモニターで障害が検出されたことを示しています。	
External energy storage monitoring: Major alarm (外部蓄電監視: 主要アラーム)	重大	入力接点が、外部蓄電モニターで重大なアラームが検出されたことを示しています。	Schneider Electricに連絡してください。
External energy storage monitoring: Minor alarm (外部蓄電監視: 軽微なアラーム)	警告	入力接点が、外部蓄電モニターで軽微なアラームが検出されたことを示しています。	Schneider Electricに連絡してください。
External signal turns charger off: Activated (外部信号による充電器オフ: アクティブ化)	警告	充電器オフに対する入力接点がアクティブな状態になっています。	Schneider Electricに連絡してください。
Firmware versions in parallel UPS units are not identical (並列UPSユニットのファームウェアバージョンが不一致)	警告	並列UPSユニットのファームウェアバージョンが一致していません。	並列システム内のすべてのUPSユニットのファームウェアを更新して同じバージョンにしてください。
General parallel system event (一般的な並列システムイベント)	重大	並列システムが正しく設定されていないか、正常に動作していません。	Schneider Electricに連絡してください。
Genset is supplying the UPS (発電機がUPSに給電中)	情報	入力接点が、発電機からUPSに対して電力が供給されていることを示しています。	
Ground fault detected (地絡障害が検出されました)	警告	入力接点が、接地線障害が検出されたことを示しています。	Schneider Electricに連絡してください。
High Battery Temperature Level (高バッテリー温度レベル)	警告	バッテリーの温度がアラーム設定温度を超えています。	バッテリーの温度を確認してください。バッテリーが高温になると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
High battery temperature shutdown (高バッテリー温度シャットダウン)	重大	蓄電監視機能により、バッテリーの温度がシャットダウンの制限温度を超えていることが検出されました。	バッテリーの温度を確認してください。
High Efficiency Mode disabled (高効率モードが無効化されました)	情報	入力接点が、高効率モードが無効になっていることを示しています。	
High humidity threshold violation at remote sensor (リモートセンサーで高湿度しきい値が超過しました)	警告	統合環境モニターセンサーで高湿度しきい値を超過しました。	センサーの周辺環境を確認してください。
High temperature threshold violation at remote sensor (リモートセンサーで高温しきい値を超過しました)	警告	統合環境モニターセンサーの温度がしきい値を超えています。	センサーの周辺環境を確認してください。
IMB closed in parallel system with MBB (MBBとの並列システムでIMB閉)	警告	保守バイパスブレーカーが使用されている並列システムで、内部保守ブレーカー (IMB) がクローズされました。	
IMB redundant monitoring not working correctly (IMB冗長監視が正しく機能していません)	警告	内部保守ブレーカー (IMB) の2つの冗長AUXスイッチの状態が一致していません。	内部保守ブレーカー (IMB) のAUXスイッチの配線を確認してください。
Incomplete battery string detected (不完全なバッテリーstringが検出されました)	警告	不完全なバッテリーstringが検出されました。	不足しているバッテリーモジュールを追加してください。
Incorrect 3-wire configuration detected (誤った3線構成が検出されました)	重大	現在設定されているUPSシステム電圧では、UPSを3線システムとして使用することはできません。	Schneider Electricに連絡してください。
Incorrect battery monitor controller (BMC) configuration detected (バッテリーモニターコントローラー(BMC)構成の誤りが検出されました)	警告	正しくないバッテリーモニターコントローラー (BMC) 設定が検出されました。	バッテリーモニターコントローラー (BMC) のアドレスIDが正しく割り当てられているかどうか、モジュール式バッテリーキャビネットの設定数が、実際に設置されている数と一致しているかどうかを確認してください。
Incorrect system voltage configuration detected (誤ったシステム電圧構成が検出されました)	重大	設定されているUPSシステム電圧が許容範囲外になっています。	Schneider Electricに連絡してください。
Incorrect UPS base model number detected (誤ったUPSベースモデル番号が検出されました)	重大	UPSベースモデル番号が、実際に取り付けられているフレームタイプ、パワーモジュールタイプ、またはスタティックバイパススイッチモジュール (SBS) タイプと一致していません。	Schneider Electricに連絡してください。
Incorrect UPS model number detected (誤ったUPSモデル番号が検出されました)	重大	UPSモデル番号が、UPSベースモデル番号と一致していません。	Schneider Electricに連絡してください。
Input frequency out of tolerance (入力周波数が許容範囲外)	警告	入力周波数が許容範囲外になっています。	入力周波数と入力周波数の設定を確認してください。
Input phase missing (入力欠相)	警告	入力に欠相があります。	入力を確認してください。Schneider Electricに連絡してください。
Input phase missing (入力逆相)	警告	入力の相回転が正しくありません。	入力を確認してください。Schneider Electricに連絡してください。
Input voltage out of tolerance (入力電圧が許容範囲外)	警告	入力電圧が許容範囲外になっています。	
Internal power module redundancy lost (内部パワーモジュールの冗長性が失われました)	警告	使用可能なパワーモジュールの数が不足しているため、設定されている内部パワーモジュールの冗長性が失われました。	パワーモジュールを追加してください。
Inverter is Off due to a request by the user (ユーザーの要求によりインバーターがオフ)	警告	ユーザーの要求により、インバーターがオフになっています。	

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
Inverter output is not in phase with bypass input (インバーター出力がバイパス入力の位相と一致していません)	警告	UPSインバーター出力の位相がバイパス入力の位相と一致していません。	
Load on UPS is above warning level (UPSへの負荷は警告レベルを超えています)	警告	UPSの負荷が警告レベルを超えています。	システムに対する負荷を下げてください。
Lost communication to remote sensor (リモートセンサーへの通信喪失)	重大	ローカルネットワーク管理インターフェイスと統合環境モニターとの通信が切断されました。	センサーの周辺環境を確認してください。
Low Battery Temperature Level (低バッテリー温度レベル)	警告	バッテリーの温度がアラーム設定温度よりも低くなっています。	
Low humidity threshold violation at remote sensor (リモートセンサーで低湿度しきい値が超過しました)	警告	統合環境モニターセンサーの湿度が低しきい値を下回っています。	センサーの周辺環境を確認してください。
Low temperature threshold violation at remote sensor (リモートセンサーの温度が低しきい値を下回っています)	警告	統合環境モニターセンサーの温度が低しきい値を下回っています。	センサーの周辺環境を確認してください。
Maximum humidity threshold violation at remote sensor (リモートセンサーで最高湿度しきい値を超過しました)	重大	統合環境モニターセンサーの湿度が上限しきい値を超えています。	センサーの周辺環境を確認してください。
Maximum temperature threshold violation at remote sensor (リモートセンサーで最高温度しきい値を超過しました)	重大	統合環境モニターセンサーの温度が上限しきい値を超えています。	センサーの周辺環境を確認してください。
MBB redundant monitoring not working correctly (MBB冗長監視が正しく機能していません)	警告	保守バイパスブレーカー (MBB) の2つの冗長AUXスイッチの状態が一致していません。	保守バイパスブレーカー (MBB) のAUXスイッチの配線を確認してください。
Minimum humidity threshold violation at remote sensor (リモートセンサーで最低湿度しきい値を超過しました)	重大	統合環境モニターセンサーの湿度が下限しきい値を下回っています。	センサーの周辺環境を確認してください。
Minimum temperature threshold violation at remote sensor (リモートセンサーで最低温度しきい値を超過しました)	重大	統合環境モニターセンサーの温度が下限しきい値を下回っています。	センサーの周辺環境を確認してください。
Mixed battery brands on string level detected (ストリングレベルのバッテリーブランド混在が検出されました)	警告	ストリング内のバッテリーモジュールで、異なるブランドのバッテリーが検出されました。	ストリング内のバッテリーモジュールのブランドを統一してください。
Mixed battery module commercial references on system level detected (システムレベルのバッテリーモジュール参照情報の混在が検出されました)	警告	システムレベルのバッテリーモジュールで異なる商業参照情報が検出されました。	取り付けられているすべてのバッテリーモジュールで商業参照情報を統一してください。
Mixed battery solution detected (バッテリーソリューション混在が検出されました)	警告	このUPSは、クラシックバッテリーソリューション用に設定されていますが、1つ以上のバッテリーモジュールが取り付けられていることが検出されました。	すべてのバッテリーモジュールを取り外してください。
Modular battery breaker open (モジュール式バッテリーブレーカー開)	警告	モジュール式バッテリーブレーカーが開いています。	
Modular battery cabinet commercial reference unknown (モジュール式バッテリーキャビネット参照情報不明)	警告	モジュール式バッテリーキャビネットの商業参照情報が不明です。	Schneider Electricに連絡してください。

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
Modular battery cabinet fuse blown (モジュール式バッテリーキャビネットヒューズが溶断しました)	警告	モジュール式バッテリーキャビネットのヒューズが切れています。	Schneider Electricに連絡してください。
Modular battery DC relay open (モジュール式バッテリーDCリレー開)	警告	モジュール式バッテリーのDCリレーが開いています。	
Modular battery string temperature out of tolerance (モジュール式バッテリーstring温度が許容範囲外)	警告	モジュール式バッテリーstringの温度が許容範囲外になっています。	
Modular battery temperature out of tolerance (モジュール式バッテリー温度が許容範囲外)	警告	モジュール式バッテリーの温度が許容範囲外になっています。	
Multiple NTP server connections enabled (複数のNTPサーバー接続が有効)	警告	NTPサーバーの複数の接続が有効になっています。	NTPサービスを無効にしてください。
Neutral displacement detected (中性点変位が検出されました)	警告	中性点変位が検出されました。	
NMC communication lost - connected (NMC通信喪失 - 接続されました)	警告	ネットワーク管理カード (NMC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。ネットワーク管理カード (NMC) は接続されています。	Schneider Electricに連絡してください。
NMC communication lost - disconnected (NMC通信喪失 - 切断されました)	警告	ネットワーク管理カード (NMC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。ネットワーク管理カード (NMC) は切断されています。	Schneider Electricに連絡してください。
NMC communication not authenticated (NMC通信が認証されていません)	警告	ネットワーク管理カード (NMC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが認証されていません。	Schneider Electricに連絡してください。
NMC firmware incompatible (互換性のないNMCファームウェアが検出されました)	警告	ネットワーク管理カード (NMC) のファームウェアバージョンが正しくありません。	Schneider Electricに連絡してください。
No power module(s) present (パワーモジュールが存在しません)	警告	パワーモジュールが存在しません。	
No SBS present (SBSがありません)	警告	スタティックバイパススイッチモジュール (SBS) が存在しません。	
Not enough UPS units ready to turn on inverter (インバーターをオンする準備ができていないUPSユニット数が十分ではありません)	警告	1つ以上の並列UPSユニットに対してインバーターをオンにするための要求が送信されましたが、システムがインバーター運転を開始するためのUPSユニットの数が不足しています。	より多くのUPSユニットのインバーターをオンにするか、「Minimum Number of parallel UPS Required to Supply Load (負荷給電に必要な並列並列UPSの最小数)」設定を確認してください。
Output frequency out of tolerance (出力周波数が許容範囲外)	警告	出力周波数が許容範囲外になっています。	出力周波数と出力周波数の設定を確認してください。
Output frequency out of tolerance (出力電圧が許容範囲外)	警告	出力電圧が許容範囲外になっています。	
Overload on UPS due to high ambient temperature (周囲温度高によるUPS過負荷)	警告	周囲温度が高いため、UPSの定格容量に対して過負荷状態になっています。	システムに対する負荷を下げるか、周囲温度を下げてください。
Overload or short circuit on UPS (UPSの過負荷または短絡)	警告	定格容量の100%を超える過負荷状態になっているか、出力で短絡が発生しています。	システムに対する負荷を下げるか、出力の短絡を確認してください。
Parallel communication lost on PBUS cable 1 (PBUSケーブル1並列通信喪失)	警告	PBUSケーブル1が損傷している可能性があります。	PBUSケーブル1を交換してください。

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
Parallel communication lost on PBUS cable 2 (PBUSケーブル2並列通信喪失)	警告	PBUSケーブル2が損傷している可能性があります。	PBUSケーブル2を交換してください。
Parallel mixed operation mode (並列混在運転モード)	警告	1つ以上の並列UPSユニットがバッテリー運転で稼働していて、他のユニットが通常運転で稼働しています。	
Parallel redundancy lost (並列冗長性の喪失)	警告	設定された並列冗長性が失われました。出力が過負荷状態になっているか、使用可能な並列UPSユニットの数が不足しています。	システムに対する負荷を下げるか、並列UPSユニットを追加してください。
Parallel unit not present (並列ユニットなし)	警告	UPSが、並列UPS %dと通信できません。このUPSの電源が切れているか、PBUSケーブルが損傷している可能性があります。	Schneider Electricに連絡してください。
PMC communication lost - connected (PMC通信喪失 - 接続されました)	警告	パワーモジュールコントローラー (PMC) とユニットコントローラー (UC) との通信リンクが失われました。パワーモジュールコントローラー (PMC) は接続されています。	Schneider Electricに連絡してください。
PMC communication lost - disconnected (PMC通信喪失 - 切断されました)	警告	パワーモジュールコントローラー (PMC) とユニットコントローラー (UC) との通信リンクが失われました。パワーモジュールコントローラー (PMC) は切断されています。	Schneider Electricに連絡してください。
PMC communication not authenticated (PMC通信は認証されていません)	警告	パワーモジュールコントローラー (PMC) とユニットコントローラー (UC) との通信リンクが認証されていません。	Schneider Electricに連絡してください。
Power module disabled (パワーモジュール無効)	警告	パワーモジュールが無効になっています。	
Power module fan inoperable (パワーモジュールファン稼働不能)	警告	パワーモジュールの1つ以上のファンが動作不能な状態になっています。ファンの冗長性が失われています。	Schneider Electricに連絡してください。
Power module inlet temperature high (パワーモジュール吸気口温度高)	警告	パワーモジュールの入口の温度が高くなっています。	
Power module inlet temperature out of tolerance (パワーモジュール吸気口温度が許容範囲外)	警告	パワーモジュールの入口の温度が許容範囲外になっています。	
Power module inoperable (パワーモジュール稼働不能)	警告	パワーモジュールが動作不能な状態になっています。	パワーモジュールを交換するか、Schneider Electricに連絡してください。
Power module overheated (パワーモジュール過熱)	重大	パワーモジュールの温度が重大レベルを超えています。	
Power module surveillance detected fault (パワーモジュール監視障害検出)	重大	パワーモジュール監視機能によって障害が検出されました。	Schneider Electricに連絡してください。
Power module temperature warning (パワーモジュール温度警告)	警告	パワーモジュールの温度が警告レベルを超えています。	
Product not registered (製品が登録されていません)	情報	UPSが登録されていません。	製品を登録してください。
RIMB redundant monitoring not working correctly (RIMB冗長監視が正しく機能していません)	警告	リモート内部保守ブレイカー (RIMB) の2つの冗長AUXスイッチの状態が一致していません。	リモート内部保守ブレイカー (RIMB) のAUXスイッチの配線を確認してください。
SBS module disabled (SBSモジュール無効)	警告	ユーザーにより、スタティックバイパススイッチモジュール (SBS) が無効になっています。	
SBS power rating lower than configured UPS power rating (SBS電力定格は構成されたUPS電力定格を下回りました)	警告	スタティックバイパススイッチモジュール (SBS) の電力定格が、設定されているUPS電力定格を下回っています。そのため、スタティックバイパススイッチモジュール (SBS) の電力定格に	

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
		一致するように、UPSの電力定格が引き下げられました。	
SBSC communication lost - connected (SBSC通信喪失 - 接続されました)	警告	スタティックバイパススイッチモジュールコントローラー (SBSC) とユニットコントローラー (UC) との通信リンクが失われました。スタティックバイパススイッチモジュールコントローラー (SBSC) は接続されています。	Schneider Electricに連絡してください。
SBSC communication lost - disconnected (SBSC通信喪失 - 切断されました)	警告	スタティックバイパススイッチモジュールコントローラー (SBSC) とユニットコントローラー (UC) との通信リンクが失われました。スタティックバイパススイッチモジュールコントローラー (SBSC) は切断されています。	Schneider Electricに連絡してください。
SBSC communication not authenticated (SBSC通信は認証されていません)	警告	スタティックバイパススイッチモジュールコントローラー (SBSC) とユニットコントローラー (UC) との通信リンクが認証されていません。	Schneider Electricに連絡してください。
Settings file not accepted (設定ファイルは受諾されていません)	警告	設定ファイルが正しくないか、このUPS用の設定ファイルではありません。	
SLC in controller box is not working correctly (コントローラーボックスのSLCが正しく機能していません)	重大	コントローラーボックス内のシステムレベルコントローラー (SLC) が正しく動作していません。	Schneider Electricに連絡してください。
Static bypass switch fan inoperable (スタティックバイパススイッチファン稼働不能)	警告	スタティックバイパススイッチモジュール (SBS) の1つ以上のファンが動作不能な状態になっています。ファンの冗長性が失われています。	Schneider Electricに連絡してください。
Static bypass switch inoperable (スタティックバイパススイッチ稼働不能)	重大	スタティックバイパススイッチが動作不能な状態になっています。そのため、UPSをスタティックバイパス運転に切り替えることができません。	Schneider Electricに連絡してください。
Static bypass switch warning (スタティックバイパススイッチ警告)	警告	スタティックバイパススイッチの技術点検を行う必要があります。ただし、UPSは問題なく稼働します。	Schneider Electricに連絡してください。
Synchronization unavailable - system is freerunning (同期不可 - システムは非同期で自走中)	警告	UPSを、バイパス入力、外部電源、または並列システムと同期することができません。	
System locked in bypass operation (バイパス運転でシステムがロックされました)	重大	システムがバイパス運転でロックされています。	インバーター運転とバイパス運転の切り替えが75秒間に10回以上行われました。通常運転に戻るには、インバーターONボタンを押してください。
System operation mode - Forced Static Bypass (システム運転モード - 強制スタティックバイパス)	重大	重大なイベントまたはインバーターオフ要求により、システムがバイパス運転モードになっています。	
System operation mode - Maintenance Bypass (システム運転モード - 保守バイパス)	警告	システムの負荷に対して、保守バイパスプレーカー (MBB) から電力が供給されています。	
System operation mode - Off (システム運転モード - オフ)	重大	システムの出力電力がオフになっています。	
System operation mode - Requested Static Bypass (システム運転モード - 要求スタティックバイパス運転)	警告	UPSの前面パネル操作またはユーザーが入力したソフトウェアコマンドにより、システムがバイパス運転モードになっています (バイパス運転モードは、通常、保守目的で使用されます) 。	
System operation mode - Static Bypass Standby (システム運転モード - スタティックバイパススタンバイ運転)	重大	重大イベントまたはインバーターオフ要求により、システムがスタティックバイパススタンバイ運転モードになっています。	
Technical check recommended (技術点検を推奨)	情報	予防措置として、製品とバッテリーを点検することをお勧めします。	Schneider Electricに連絡してください。

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
Temperature of input and/or output transformer is too high (入力/出力変圧器温度非常に高)	警告	入力/出力変圧器の温度が非常に高くなっています。	入力/出力変圧器の温度を確認してください。
UC communication lost - connected (UC通信喪失 - 接続されました)	警告	ユニットコントローラー (UC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。ユニットコントローラ (UC) は接続されています。	Schneider Electricに連絡してください。
UC communication lost - disconnected (UC通信喪失 - 切断されました)	警告	ユニットコントローラー (UC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信リンクが失われました。ユニットコントローラ (UC) は切断されています。	Schneider Electricに連絡してください。
UC communication not authenticated (UC通信は認証されていません)	警告	ユニットコントローラー (UC) とシステムレベルコントローラー (SLC) との通信が認証されていません。	Schneider Electricに連絡してください。
UC in controller box is not working correctly (コントローラーボックスのUCが正しく機能していません)	重大	コントローラーボックス内のUCが正しく動作していません。	Schneider Electricに連絡してください。
Unsupported power frame type detected (サポートされていない電源フレームタイプが検出されました)	重大	現在のUPS電源設定ではサポートされていないタイプのUPS電源フレームが検出されました。	Schneider Electricに連絡してください。
Unsupported power module type detected (サポートされていないパワーモジュールタイプが検出されました)	重大	現在のUPS電源設定ではサポートされていないタイプのパワーモジュールが検出されました。	Schneider Electricに連絡してください。
Unsupported SBS module type detected (サポートされていないSBSモジュールタイプが検出されました)	重大	現在のUPS電源設定ではサポートされていないタイプのスタティックバイパススイッチモジュール (SBS) が検出されました。	Schneider Electricに連絡してください。
UOB redundant monitoring not working correctly (UOB冗長監視が正しく機能していません)	警告	ユニット出力ブレーカー (UOB) の2つの冗長AUXスイッチの状態が一致していません。	ユニット出力ブレーカー (UOB) のAUXスイッチの配線を確認してください。
UPS locked in static bypass mode: Activated (UPSがスタティックバイパスモードでロックされています: アクティブ化)	警告	入力接点が、UPSがスタティックバイパスモードでロックされていることを示しています。	
UPS operation mode - Battery (UPS運転モード - バッテリー)	警告	入力電源の問題に対応するため、またはConversionからの運転モードの切り替えのために、UPSがバッテリー運転モードになっています。	
UPS operation mode - Battery Test (UPS運転モード - バッテリーテスト)	情報	バッテリー性能をテストするため、UPSがバッテリーテスト電源モードになっています。	
UPS operation mode - Forced Static Bypass (UPS運転モード - 強制スタティックバイパス)	重大	UPSが強制スタティックバイパス運転モードになっています。	アクティブなアラームとイベントログを確認して、UPSが強制スタティックバイパス運転モードに切り替わった理由を調べてください。
UPS operation mode - Inverter Standby (UPS運転モード - インバータスタンバイ運転)	情報	UPSのバッテリー運転への切り替え準備は整っていますが、システムによる許可を待機している状態です。UPS出力はオフになっています。	
UPS operation mode - Maintenance Bypass (UPS運転モード - 保守バイパス)	警告	UPSの負荷に対して、保守バイパスブレーカー (MBB) から電力が供給されています。	
UPS operation mode - Off (UPS運転モード - オフ)	重大	出力電力がオフになっています。	
UPS operation mode - Requested Static Bypass (UPS運転モード - 要求スタティックバイパス運転)	警告	UPSの前面パネル操作またはユーザーが入力したソフトウェアコマンドにより、UPSがバイパス運転モードになっています (バイパス運転モードは、通常、保守目的で使用されます) 。	

表示テキスト	重大度	説明	修正措置
UPS operation mode - Static Bypass Standby (UPS運転モード - スタティックバイパススタンバイ運転)	警告	UPSのスタティックバイパス運転へのり替え準備は整っていますが、システムによる許可を待機している状態です。UPS出力はオフになっています。	
UPSの出力負荷が低すぎるため、eConversionモードに移行できません	情報	UPSの出力負荷が低すぎるため、eConversionモードに移行できません。	UPSの出力負荷を高くするか、eConversionモードを無効にしてください。
UPS surveillance detected fault (UPS監視が障害を検出しました)	重大	UPS監視機能によって障害が検出されました。	Schneider Electricに連絡してください。
User-defined input 1 activated (ユーザー定義の入力1がアクティブ)	情報	ユーザーが定義した入力接点1がアクティブな状態になっています。	
User-defined input 2 activated (ユーザー定義の入力2がアクティブ)	情報	ユーザーが定義した入力接点2がアクティブな状態になっています。	
Warranty expiring soon (保証期間がまもなく終了します)	情報	製品の保証期間がまもなく終了します。	Schneider Electricに連絡してください。

UPSレポートのUSBデバイスへのエクスポート

1. **保守 > UPSレポート**を選択します。
2. 前面パネルを開けます。
3. USBデバイスをUPSのUSBポートに挿入します。
4. **エクスポート**をタップします。
注記： エクスポートプロセスが終了するまでUSBデバイスを取り外さないでください。
5. UPSレポートをSchneider Electricカスタマーサポートに送信します。

Schneider Electric
35 rue Joseph Monier
92500 Rueil Malmaison
France

+ 33 (0) 1 41 29 70 00



* 9 9 0 - 5 9 1 0 F - 0 1 8 *

規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください

© 2018 – 2023 Schneider Electric. 著作権保有

990-5910F-018